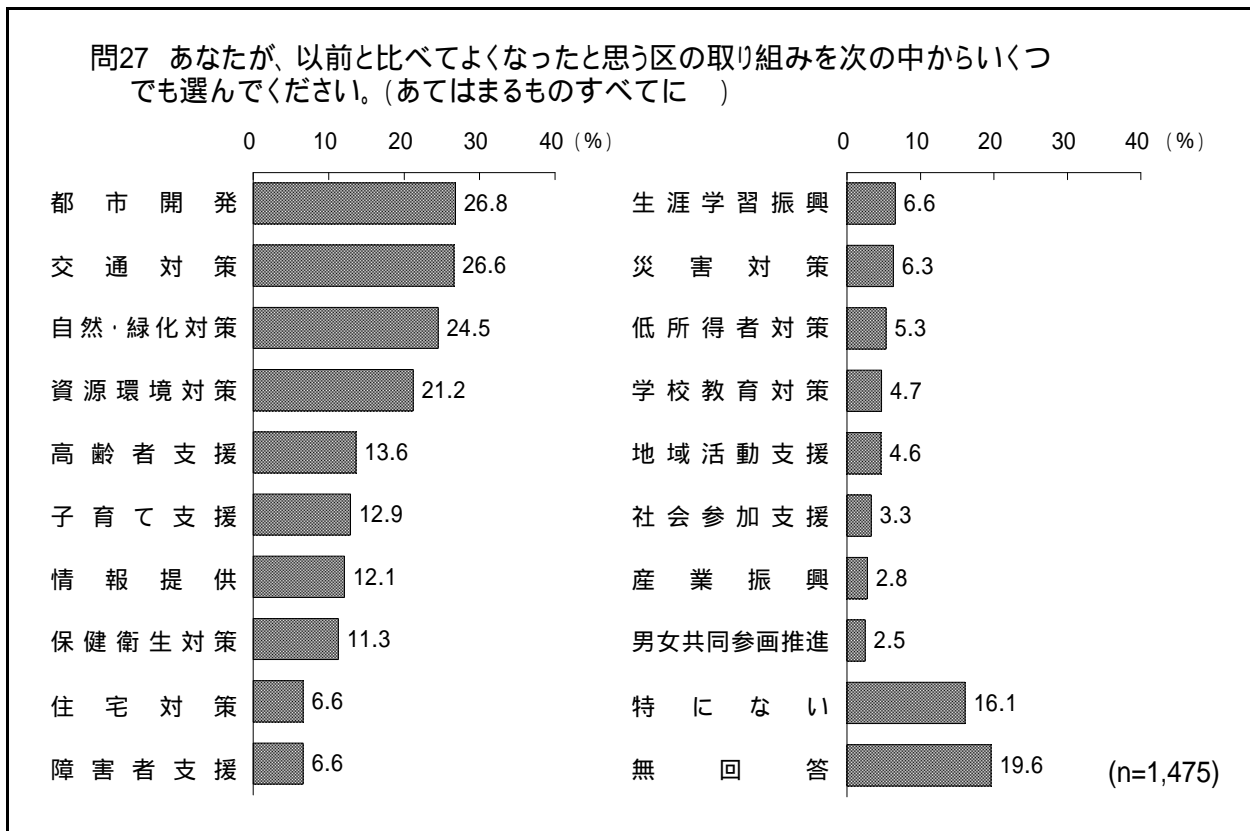


## 5 区 政

### (1) 以前と比べてよくなったと思う区の実施策

「都市開発」、「交通対策」、「自然・緑化対策」が25%前後である



区の実施策	内 容	区の実施策	内 容
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	住宅対策	良質な住宅の供給支援など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など
資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど	低所得者対策	生活の援助や自立支援など
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など	学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など
生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など	男女共同参画推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
障害者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など

以前と比べてよくなったと思う区の実施策をあげてもらったところ、「都市開発」(26.8%)が最も高く、次いで「交通対策」(26.6%)、「自然・緑化対策」(24.5%)、「資源環境対策」(21.2%)、「高齢者支援」(13.6%)の順となっている。

地域ブロック別にみると、表5 - 1 - 1のとおりである。

各ブロックの第1位をみると、最も多いのは「都市開発」「交通対策」であり、それぞれ5ブロックで並んでいる。次いで「自然・緑化対策」が3ブロックとなっている。

表5 - 1 - 1 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目（地域ブロック別）  
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,475	都 市 開 発 (26.8)	交 通 対 策 (26.6)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (24.5)	資 源 環 境 対 策 (21.2)	高 齢 者 支 援 (13.6)
第1ブロック	167	都 市 開 発 (32.9)	資 源 環 境 対 策 (23.4)	交 通 対 策 (21.0)	自 然 ・ 緑 化 対 策 / 高 齢 者 支 援 (15.0)	
第2ブロック	96	都 市 開 発 (31.3)	交 通 対 策 (28.1)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (27.1)	資 源 環 境 対 策 (16.7)	高 齢 者 支 援 / 情 報 提 供 (12.5)
第3ブロック	108	交 通 対 策 (28.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (25.9)	都 市 開 発 (25.0)	資 源 環 境 対 策 (20.4)	高 齢 者 支 援 (17.6)
第4ブロック	125	都 市 開 発 (22.4)	資 源 環 境 対 策 (20.8)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (16.0)	交 通 対 策 / 高 齢 者 支 援 (15.2)	
第5ブロック	143	都 市 開 発 (30.8)	交 通 対 策 (27.3)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (23.1)	資 源 環 境 対 策 (19.6)	保 健 衛 生 対 策 (16.1)
第6ブロック	154	自 然 ・ 緑 化 対 策 (26.6)	交 通 対 策 (22.1)	都 市 開 発 (19.5)	資 源 環 境 対 策 (18.2)	子 育 て 支 援 (13.0)
第7ブロック	101	交 通 対 策 (33.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (31.7)	都 市 開 発 (27.7)	資 源 環 境 対 策 (23.8)	情 報 提 供 (20.8)
第8ブロック	93	交 通 対 策 (30.1)	自 然 ・ 緑 化 対 策 / 資 源 環 境 対 策 (21.5)		都 市 開 発 (20.4)	子 育 て 支 援 / 情 報 提 供 (16.1)
第9ブロック	80	自 然 ・ 緑 化 対 策 (27.5)	交 通 対 策 (21.3)	高 齢 者 支 援 (20.0)	都 市 開 発 (18.8)	資 源 環 境 対 策 (16.3)
第10ブロック	141	都 市 開 発 (28.4)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (25.5)	交 通 対 策 (24.1)	資 源 環 境 対 策 (22.7)	子 育 て 支 援 (14.2)
第11ブロック	97	交 通 対 策 (41.2)	都 市 開 発 (40.2)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (37.1)	子 育 て 支 援 / 資 源 環 境 対 策 (22.7)	
第12ブロック	75	交 通 対 策 (34.7)	資 源 環 境 対 策 (22.7)	都 市 開 発 (21.3)	子 育 て 支 援 (18.7)	自 然 ・ 緑 化 対 策 (16.0)
第13ブロック	95	自 然 ・ 緑 化 対 策 (31.6)	交 通 対 策 (29.5)	都 市 開 発 / 資 源 環 境 対 策 (26.3)		保 健 衛 生 対 策 (14.7)

ブロック区分



性・年代別にみると、表5 - 1 - 2のとおりである。

「都市開発」が6つの年代、「交通対策」が5つの年代で第1位になっている。

表5 - 1 - 2 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目 (性・年代別) (%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,475	都 市 開 発 (26.8)	交 通 対 策 (26.6)	自 然・緑 化 対 策 (24.5)	資 源 環 境 対 策 (21.2)	高 齢 者 支 援 (13.6)
男性20代	47	都 市 開 発 (19.1)	交 通 対 策 (17.0)	自 然・緑 化 対 策 (14.9)	情 報 提 供 (12.8)	子 育 て 支 援 (10.6)
30代	108	都 市 開 発 (25.9)	交 通 対 策 / 自 然・緑 化 対 策 (24.1)		子 育 て 支 援 (18.5)	資 源 環 境 対 策 (10.2)
40代	99	交 通 対 策 (39.4)	都 市 開 発 (30.3)	自 然・緑 化 対 策 (26.3)	子 育 て 支 援 (17.2)	資 源 環 境 対 策 (14.1)
50代	106	交 通 対 策 (32.1)	都 市 開 発 (29.2)	自 然・緑 化 対 策 / 資 源 環 境 対 策 (28.3)		情 報 提 供 (19.8)
60代	148	交 通 対 策 (32.4)	都 市 開 発 (29.7)	自 然・緑 化 対 策 (28.4)	資 源 環 境 対 策 (23.0)	保 健 衛 生 対 策 (18.2)
70歳以上	108	交 通 対 策 (38.9)	自 然・緑 化 対 策 (34.3)	高 齢 者 支 援 (27.8)	都 市 開 発 (26.9)	資 源 環 境 対 策 (24.1)
女性20代	83	都 市 開 発 (24.1)	資 源 環 境 対 策 (16.9)	交 通 対 策 (15.7)	自 然・緑 化 対 策 (13.3)	子 育 て 支 援 (8.4)
30代	137	都 市 開 発 (25.5)	子 育 て 支 援 (23.4)	資 源 環 境 対 策 (19.0)	自 然・緑 化 対 策 (18.2)	交 通 対 策 (16.1)
40代	140	都 市 開 発 / 交 通 対 策 (26.4)		自 然・緑 化 対 策 (24.3)	子 育 て 支 援 (22.1)	資 源 環 境 対 策 (14.3)
50代	132	資 源 環 境 対 策 (32.6)	都 市 開 発 / 自 然・緑 化 対 策 (24.2)		交 通 対 策 (19.7)	情 報 提 供 (15.2)
60代	185	都 市 開 発 (30.3)	交 通 対 策 (29.2)	資 源 環 境 対 策 (28.6)	自 然・緑 化 対 策 (25.9)	保 健 衛 生 対 策 / 情 報 提 供 (16.8)
70歳以上	144	高 齢 者 支 援 (23.6)	自 然・緑 化 対 策 (22.9)	都 市 開 発 / 交 通 対 策 (22.2)		資 源 環 境 対 策 (20.1)

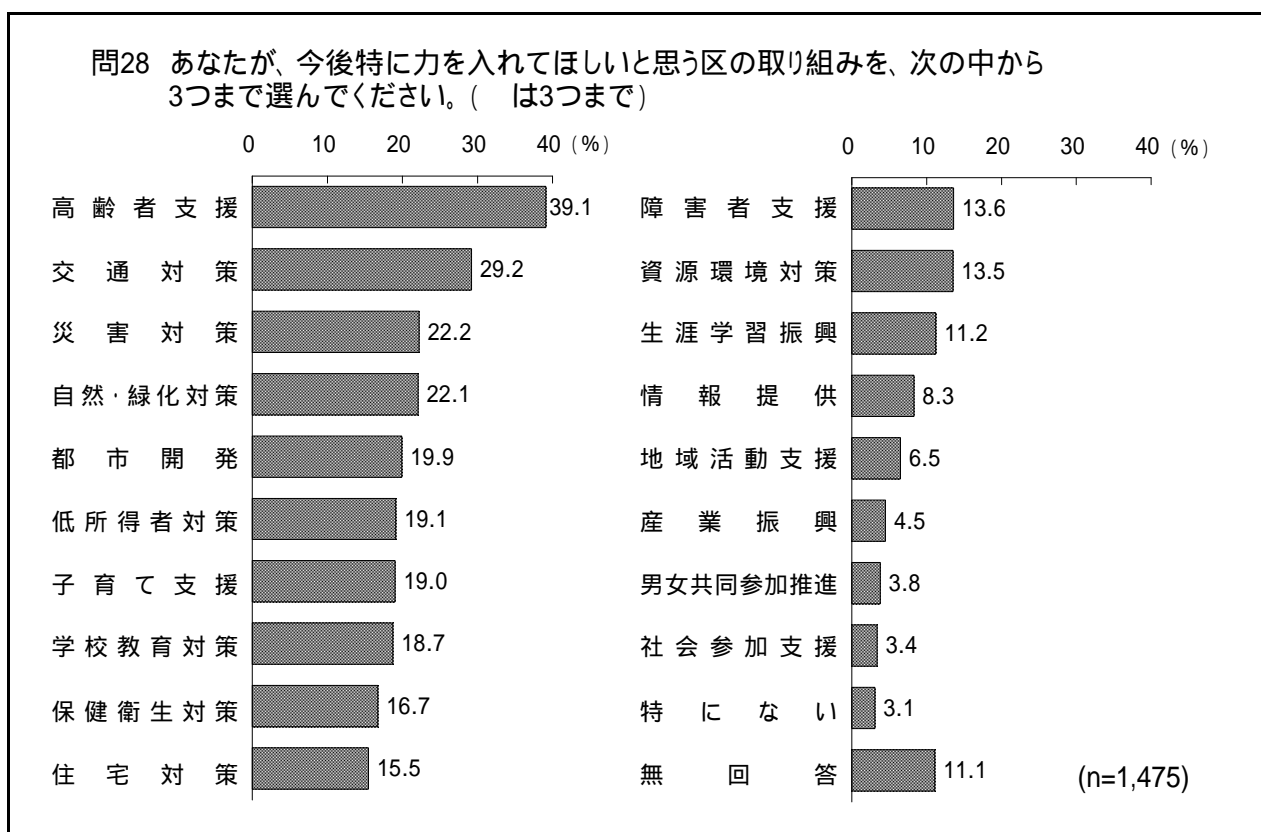
表5 - 1 - 3 以前と比べてよくなったと思う区の取り組み 上位5項目の推移

区の取り組み	平成18年の上位		平成19年の上位		平成18年と 平成19年の差
	順位	%	順位	%	
交 通 対 策	第1位	26.5	第2位	26.6	+0.1
都 市 開 発	第2位	26.3	第1位	26.8	+0.5
自 然 ・ 緑 化 対 策	第3位	23.1	第3位	24.5	+1.4
資 源 環 境 対 策	第4位	19.3	第4位	21.2	+1.9
高 齢 者 支 援	第5位	13.2	第5位	13.6	+0.4

以前と比べてよくなったと思う区の取り組みは平成18年と比べると、0.1～1.9ポイントずつ、すべて上昇している。

## (2) 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み

「高齢者支援」が4割弱で最も高い



区の取り組み	内 容	区の取り組み	内 容
高齢者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、生きがい対策など	障害者支援	在宅生活や介護の支援、施設の整備、就労支援など
交通対策	道路や交通網の整備、交通安全対策など	保健衛生対策	健康づくり、健康診査、生活衛生など
子育て支援	保育サービスや子育て相談の充実など	資源環境対策	省エネルギー、ごみ処理、リサイクルなど
自然・緑化対策	公園や緑地、河川の整備など	生涯学習振興	文化・スポーツ活動の支援、施設の充実など
都市開発	開発・再開発、美しい街並みや景観づくりなど	産業振興	商工業の支援、企業起こしの支援、消費者対策など
災害対策	防災活動の充実、都市の不燃化など	地域活動支援	町会・自治会活動の支援、青少年の健全育成など
低所得者対策	生活の援助や自立支援など	情報提供	広報やホームページなどによる区政情報の提供など
学校教育対策	教育内容の充実、施設の改修など	男女共同参加推進	男女が平等に社会参加できるしくみづくりなど
住宅対策	良質な住宅の供給支援など	社会参加支援	NPOやボランティアの育成や支援など

今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを3つまであげてもらったところ、「高齢者支援」が39.1%と最も高く、次いで「交通対策」は29.2%、「災害対策」は22.2%の順となっている。

地域ブロック別にみると、表5 - 2 - 1のとおりである。

第2、第9、第10ブロックをのぞく10のブロックで「高齢者支援」が第1位にあげられている。

表5 - 2 - 1 今後特に力を入れて欲しいと思う区の取り組み 上位5項目 (地域ブロック別)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,475	高齢者支援 (39.1)	交通対策 (29.2)	災害対策 (22.2)	自然・緑化対策 (22.1)	都市開発 (19.9)
第1ブロック	167	高齢者支援 (31.7)	災害対策 (29.3)	自然・緑化対策 (23.4)	子育て支援 (22.2)	都市開発 (21.6)
第2ブロック	96	交通対策 (34.4)	高齢者支援 (32.3)	自然・緑化対策 (24.0)	低所得者対策/子育て支援 (21.9)	
第3ブロック	108	高齢者支援 (46.3)	交通対策 (31.5)	自然・緑化対策 (30.6)	保健衛生対策 (25.9)	都市開発 / 災害対策 (25.0)
第4ブロック	125	高齢者支援 (40.8)	交通対策 (27.2)	自然・緑化対策/低所得者対策 (24.8)		都市開発 (22.4)
第5ブロック	143	高齢者支援 (41.3)	交通対策 (28.0)	自然・緑化対策 (25.2)	災害対策 (24.5)	保健衛生対策 (22.4)
第6ブロック	154	高齢者支援 (35.7)	子育て支援 (23.4)	交通対策/災害対策 (22.7)		学校教育対策 (20.1)
第7ブロック	101	高齢者支援 (44.6)	交通対策 (28.7)	低所得者対策 (25.7)	災害対策/子育て支援 (22.8)	
第8ブロック	93	高齢者支援 (37.6)	交通対策 (33.3)	自然・緑化対策 (25.8)	都市開発 (24.7)	保健衛生対策 (19.4)
第9ブロック	80	交通対策 (35.0)	高齢者支援 (32.5)	都市開発/自然・緑化対策 (23.8)		災害対策 (18.8)
第10ブロック	141	交通対策 (34.8)	高齢者支援 (34.0)	都市開発 (28.4)	災害対策 (24.8)	自然・緑化対策 (22.0)
第11ブロック	97	高齢者支援 (45.4)	交通対策 (32.0)	学校教育対策 (28.9)	資源環境対策 (21.6)	住宅対策 / 災害対策 (20.6)
第12ブロック	75	高齢者支援 (36.0)	交通対策 (34.7)	低所得者対策 (24.0)	住宅対策 (21.3)	自然・緑化対策 (20.0)
第13ブロック	95	高齢者支援 (55.8)	交通対策 (30.5)	自然・緑化対策 (24.2)	災害対策/低所得者対策 (22.1)	

ブロック区分



性・年代別にみると、表5 - 2 - 2のとおりである。

「高齢者支援」は男性、女性ともに50代より上の年代で第1位にあげられている。「子育て支援」は女性20代、30代、男性30代で、「交通対策」は男性20代、女性40代で第1位にあげられている。

表5 - 2 - 2 今後特に力を入れて欲しいと思う区の取り組み 上位5項目（性・年代別）

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,475	高齢者支援 (39.1)	交通対策 (29.2)	災害対策 (22.2)	自然・緑化対策 (22.1)	都市開発 (19.9)
男性20代	47	交通対策 (40.4)	自然・緑化対策 (36.2)	都市開発 (34.0)	住宅対策 (23.4)	子育て支援 (19.1)
30代	108	子育て支援 (40.7)	交通対策 (35.2)	学校教育対策 (34.3)	都市開発 (25.9)	高齢者支援 (24.1)
40代	99	都市開発 (34.3)	自然・緑化対策 (31.3)	交通対策 (30.3)	高齢者支援 (28.3)	学校教育対策 (25.3)
50代	106	高齢者支援 (54.7)	交通対策 (34.0)	都市開発/自然・緑化対策 (27.4)		災害対策 (26.4)
60代	148	高齢者支援 (46.6)	災害対策 (20.9)	交通対策/低所得者対策 (20.3)		自然・緑化対策 (18.9)
70歳以上	108	高齢者支援 (50.0)	交通対策 (29.6)	災害対策 (25.0)	低所得者対策 (24.1)	保健衛生対策 (23.1)
女性20代	83	子育て支援 (42.2)	災害対策 (32.5)	交通対策 (28.9)	自然・緑化対策 (27.7)	都市開発 (26.5)
30代	137	子育て支援 (36.5)	交通対策 (34.3)	自然・緑化対策 (29.9)	学校教育対策 (28.5)	災害対策 (25.5)
40代	140	交通対策 (41.4)	高齢者支援 (38.6)	学校教育対策 (29.3)	都市開発 (24.3)	住宅対策 /低所得者対策 (22.9)
50代	132	高齢者支援 (49.2)	交通対策 (34.1)	災害対策 (29.5)	障害者支援 (20.5)	自然・緑化対策 (19.7)
60代	185	高齢者支援 (50.8)	交通対策 (21.6)	低所得者対策 (21.1)	保健衛生対策 (20.0)	自然・緑化対策 (18.4)
70歳以上	144	高齢者支援 (38.9)	交通対策 (16.7)	災害対策 (13.9)	自然・緑化対策/低所得者対策 /保健衛生対策 (13.2)	

表5 - 2 - 3 今後特に力を入れて欲しいと思う区取り組み 上位5項目 (居住年数別) (%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
全 体	1,475	高 齢 者 支 援 (39.1)	交 通 対 策 (29.2)	災 害 対 策 (22.2)	自 然・緑化対策 (22.1)	都 市 開 発 (19.9)
1年未満	43	交 通 対 策 (37.2)	子 育 て 支 援 (32.6)	都 市 開 発 (30.2)	自 然・緑化対策 (25.6)	災 害 対 策 (23.3)
1～5年未満	128	子 育 て 支 援 (37.5)	高 齢 者 支 援 (28.9)	災 害 対 策 (26.6)	自 然・緑化対策 (25.0)	交 通 対 策 (23.4)
5～10年未満	96	子 育 て 支 援 (35.4)	交 通 対 策 (34.4)	都 市 開 発/学校教育対策 (31.3)		高 齢 者 支 援 (28.1)
10～20年未満	177	交 通 対 策 (35.0)	高 齢 者 支 援 (32.8)	都 市 開 発 (27.7)	学 校 教 育 対 策 (27.1)	子 育 て 支 援 (22.0)
20年以上	1,014	高 齢 者 支 援 (43.7)	交 通 対 策 (28.2)	自 然・緑化対策 (22.3)	災 害 対 策 (21.9)	低 所 得 者 対 策 (19.3)

居住年数別にみると、表5 - 2 - 3のとおりである。

居住年数が「1年未満」、「10～20年未満」では第1位が「交通対策」となっており、「1～5年未満」、「5～10年未満」では「子育て支援」、「20年以上」では「高齢者支援」があげられている。



今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを昨年と比較すると、表5 - 2 - 4のとおりである。

平成18年と平成19年全体で第1位～第4位までの項目は変わらず、すべての項目において昨年よりも上昇しており、特に第1位の「高齢者支援」は4.3ポイント、第4位の「自然・緑化対策」では3.2ポイント上昇している。男女別にみると、男性では「自然・緑化対策」が昨年よりも4.2ポイント上昇し、女性では「高齢者支援」が昨年より3.7ポイント上昇している。

表 5 - 2 - 4 今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み 上位5項目の推移

全 体

(%)

	平成18年の上位		平成19年の上位		平成18年と 平成19年の差
	順位	%	順位	%	
高 齢 者 支 援	第1位	34.8	第1位	39.1	+4.3
交 通 対 策	第2位	27.6	第2位	29.2	+1.6
災 害 対 策	第3位	20.2	第3位	22.2	+2.0
自 然 ・ 緑 化 対 策	第4位	18.9	第4位	22.1	+3.2
子 育 て 支 援	第5位	17.9	第6位	19.0	+1.1

男 性

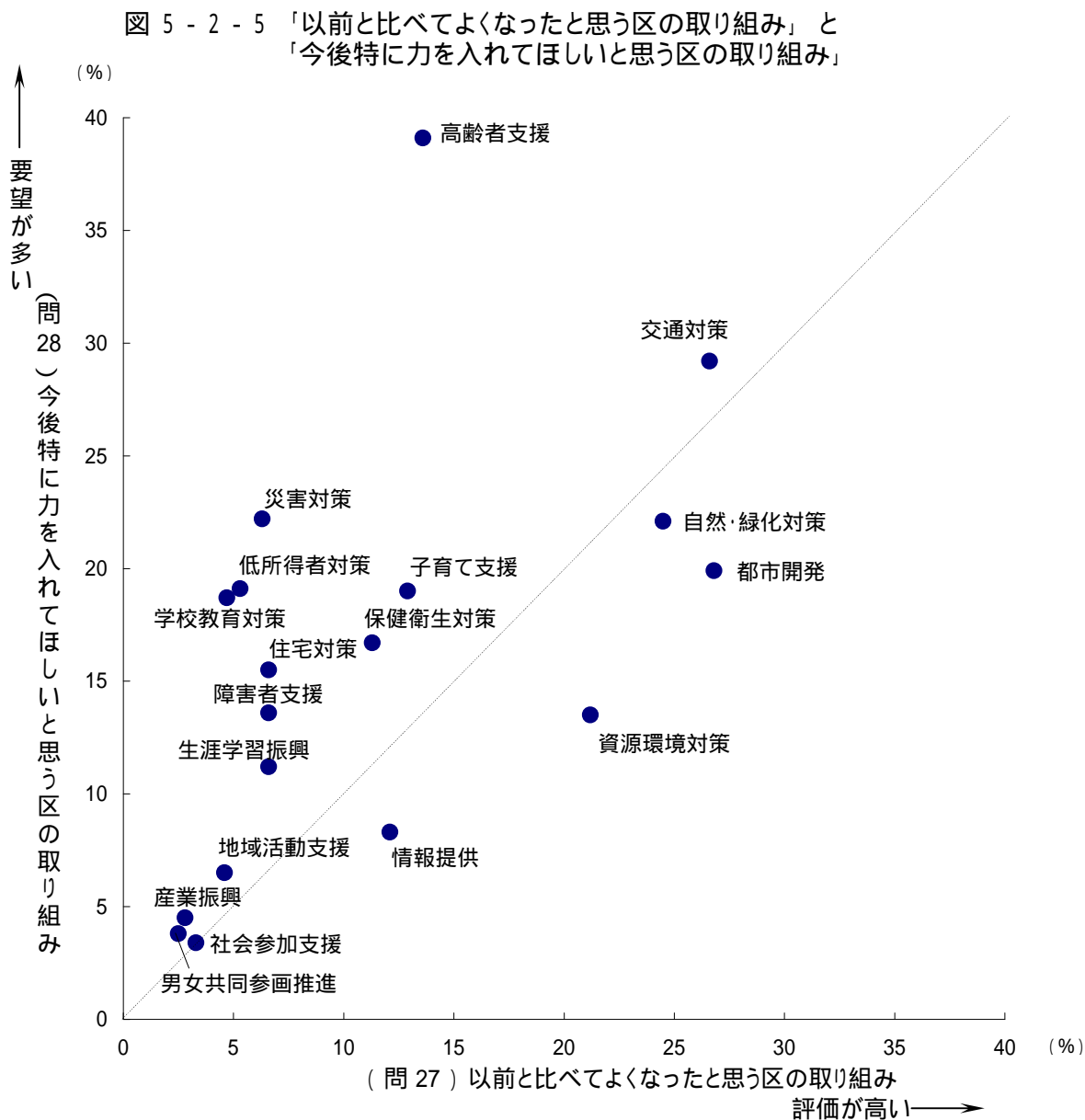
	平成18年の上位		平成19年の上位		平成18年と 平成19年の差
	順位	%	順位	%	
高 齢 者 支 援	第1位	35.9	第1位	39.4	+3.5
交 通 対 策	第2位	29.1	第2位	30.0	+0.9
災 害 対 策	第3位	21.3	第5位	22.6	+1.3
自 然 ・ 緑 化 対 策	第4位	20.6	第3位	24.8	+4.2
子 育 て 対 策	第5位	17.9	第7位	19.2	+1.3

女 性

	平成18年の上位		平成19年の上位		平成18年と 平成19年の差
	順位	%	順位	%	
高 齢 者 支 援	第1位	35.2	第1位	38.9	+3.7
交 通 対 策	第2位	27.8	第2位	29.0	+1.2
災 害 対 策	第3位	20.4	第3位	22.2	+1.8
子 育 て 支 援	第4位	18.7	第5位	19.1	+0.4
自 然 ・ 緑 化 対 策	第5位	18.4	第4位	20.6	+2.2

問27の「以前と比べてよくなったと思う区の取り組み」(評価)と問28の「今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組み」(要望)を比較対照すると、図5 - 2 - 5のとおりである。

評価が20%を下回り、かつ要望が20%を超える項目は「高齢者支援」と「災害対策」である。また、評価が20%を超えて比較的高く、かつ要望が20%を超える項目は「交通対策」と「自然・緑化対策」である。



参考 今後力を入れてほしいと思う区の取り組みの推移

(平成12年まで 訪問面接法)

問 区で最も力を入れてやってほしい対策を、この中から2つまでお答えください。

( は2つまで)

(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成6年	1,549	高齢者福祉 (41.8)	ごみ・リサイクル 対 (17.0)	住宅対策 (15.2)	交通網の整備 (14.3)	保健医療の充実 (13.2)
平成7年	1,500	高齢者福祉 (36.9)	ごみ・リサイクル 対 (16.3)	防災対策 (15.1)	交通網の整備 (13.0)	住宅対策 (12.1)
平成8年	1,512	高齢者福祉 (43.9)	保健医療の充実 (20.0)	ごみ・リサイクル 対 (16.5)	交通網の整備 (14.1)	住宅対策 (14.0)
平成9年	1,533	高齢者福祉 (42.3)	保健医療の充実 (23.7)	交通網の整備 (12.2)	防災対策 (10.8)	住宅対策 (8.8)
平成10年	1,497	高齢者福祉 (39.3)	保健医療の充実 (19.9)	交通網の整備 (12.6)	住宅対策 (10.8)	道路の整備 (9.2)
平成11年	1,503	高齢者福祉 (45.4)	保健医療の充実 (17.2)	ごみ・リサイクル 対 (15.0)	幼児・児童福祉 (10.4)	交通網の整備 (9.8)
平成12年	1,420	高齢者福祉 (37.7)	保健医療の充実 (16.9)	ごみ・リサイクル 対 (16.2)	交通網の整備 (10.7)	幼児・児童福祉 (9.5)

(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたが、今後特に力を入れてほしいと思う区の取り組みを次の中から3つまで選んでください。( は3つまで)

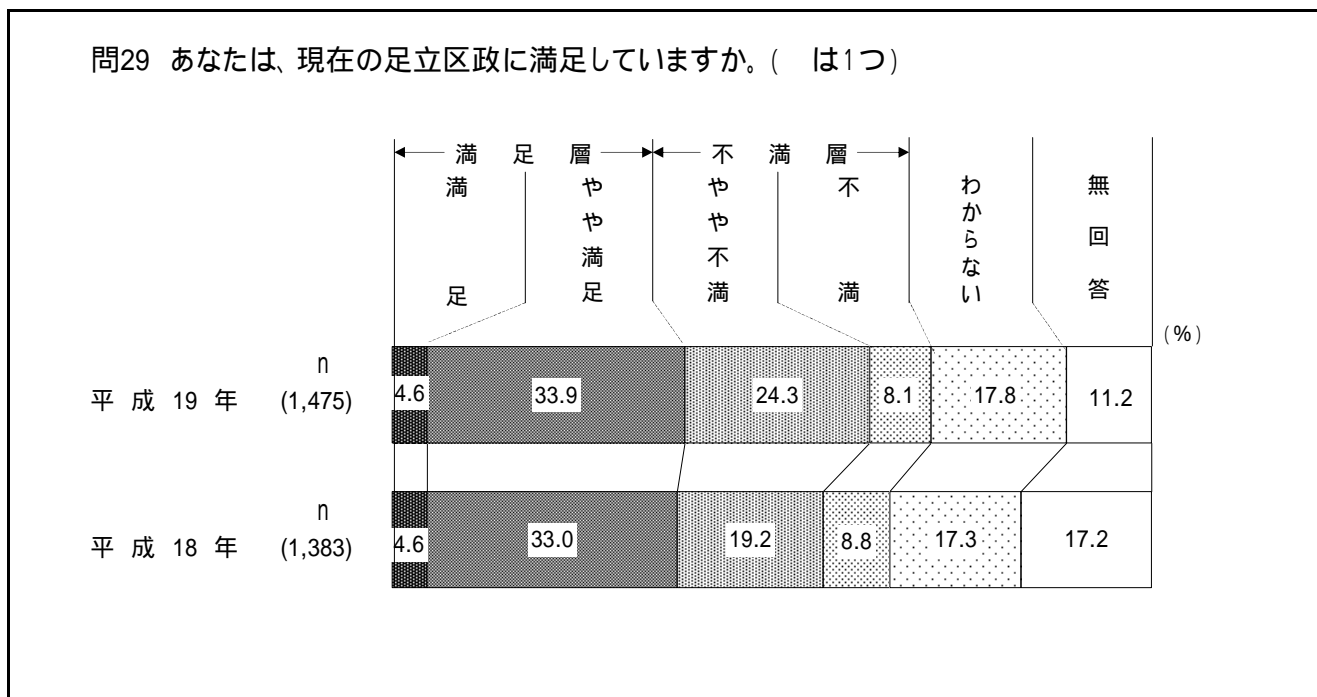
(%)

	n	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
平成13年	1,907	高齢者支援 (35.9)	交通対策 (29.1)	都市開発 (16.9)	子育て支援 (16.8)	住宅対策 (16.7)
平成14年	1,808	高齢者支援 (36.6)	交通対策 (33.4)	都市開発 (20.4)	資源環境対策 (19.1)	自然・緑化対策 (18.0)
平成15年	1,890	交通対策 (33.9)	高齢者支援 (33.1)	自然・緑化対策 (20.6)	都市開発 (20.0)	子育て支援 (19.8)
平成16年	1,497	高齢者支援 (38.5)	交通対策 (31.1)	子育て支援 (21.2)	自然・緑化対策 (19.6)	都市開発 (16.8)
平成17年	1,486	高齢者支援 (34.1)	交通対策 (30.0)	災害対策 (28.3)	子育て支援 (21.7)	自然・緑化対策 (18.7)
平成18年	1,383	高齢者支援 (34.8)	交通対策 (27.6)	災害対策 (20.2)	自然・緑化対策 (18.9)	子育て支援 (17.9)
平成19年	1,475	高齢者支援 (39.1)	交通対策 (29.2)	災害対策 (22.2)	自然・緑化対策 (22.1)	都市開発 (19.9)

(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。

### (3) 区政に対する満足度

《満足層》・《不満層》共に昨年より上昇

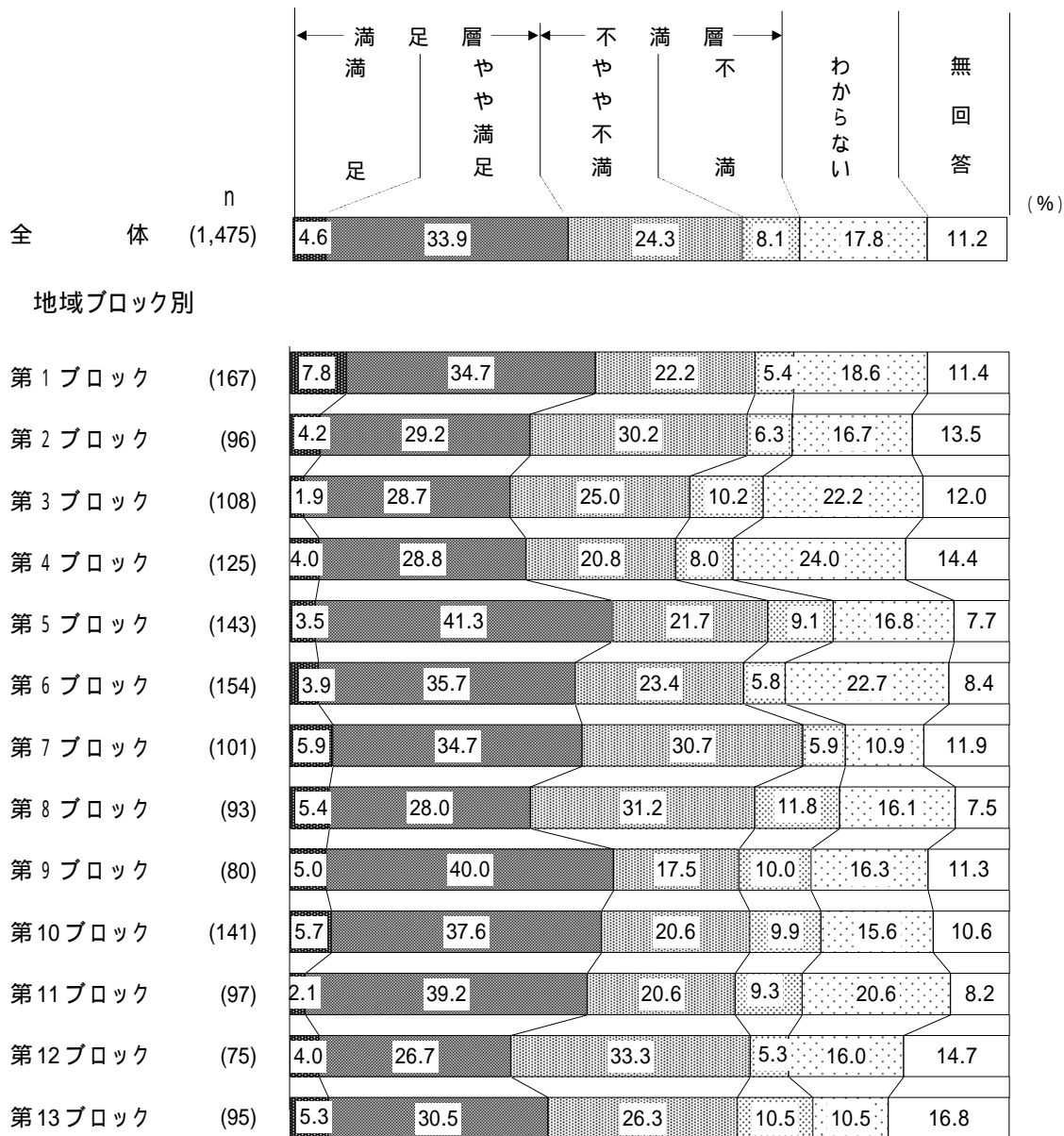


区政に対する満足度を聞いてみると、「満足」が4.6%、「やや満足」が33.9%で、これらを合わせた《満足層》は38.5%である。また「不満」の8.1%と「やや不満」の24.3%を合わせた《不満層》は32.5%である。平成18年と比較すると、《満足層》は37.5%から38.5%へ1ポイント上昇しているとともに、《不満層》も28.0%から32.5%へ4.5ポイント上昇している。

地域ブロック別にみると、図5 - 3 - 1のとおりである。

〈満足層〉は第9ブロック(45.0%)、第5ブロック(44.8%)、第10ブロック(43.3%)が比較的高い。一方、〈不満層〉は第8ブロック(43.0%)、第12ブロック(38.7%)、第13ブロック(36.8%)が比較的高い。

図 5 - 3 - 1 区政に対する満足度 (地域ブロック別)



ブロック区分

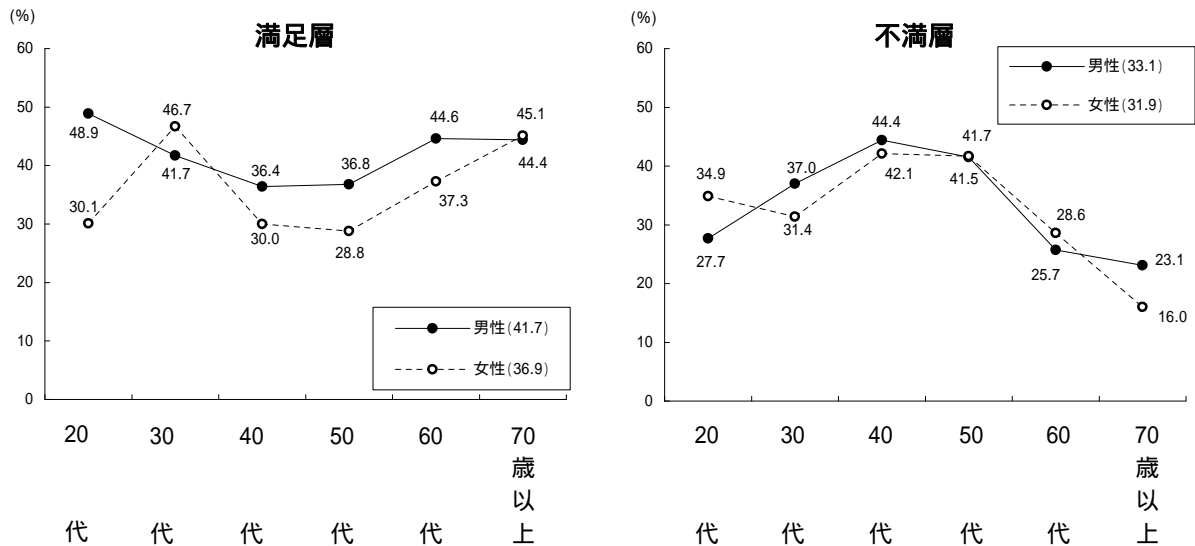


性・年代別にみると、図5 - 3 - 2のとおりである。

《満足層》において、30代、70歳以上をのぞくすべての年代で、男性が女性よりも高くなっている。

《不満層》においては、男女ともに40代が最も高くなっている(男性:44.4%、女性:42.1%)。

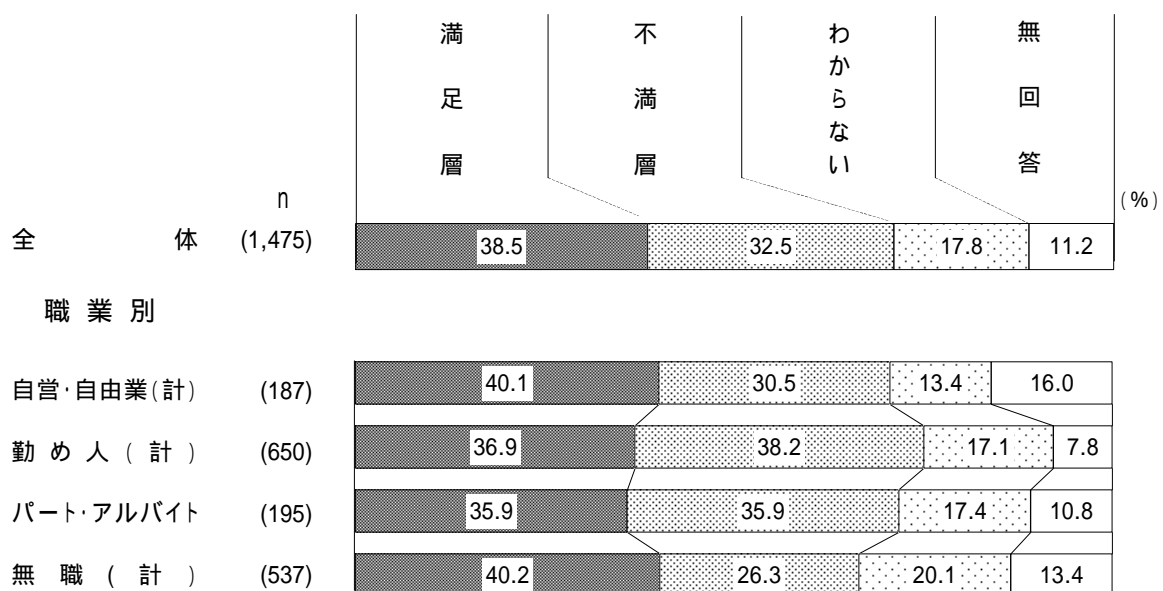
図 5 - 3 - 2 区政に対する満足度 (性・年代別)



:( )内の数値は男女それぞれの全体を示す

職業別にみると、図5 - 3 - 3のとおりである。《満足層》は無職(計)で40.2%と最も高く、《不満層》は勤め人(計)で38.2%と最も高い。

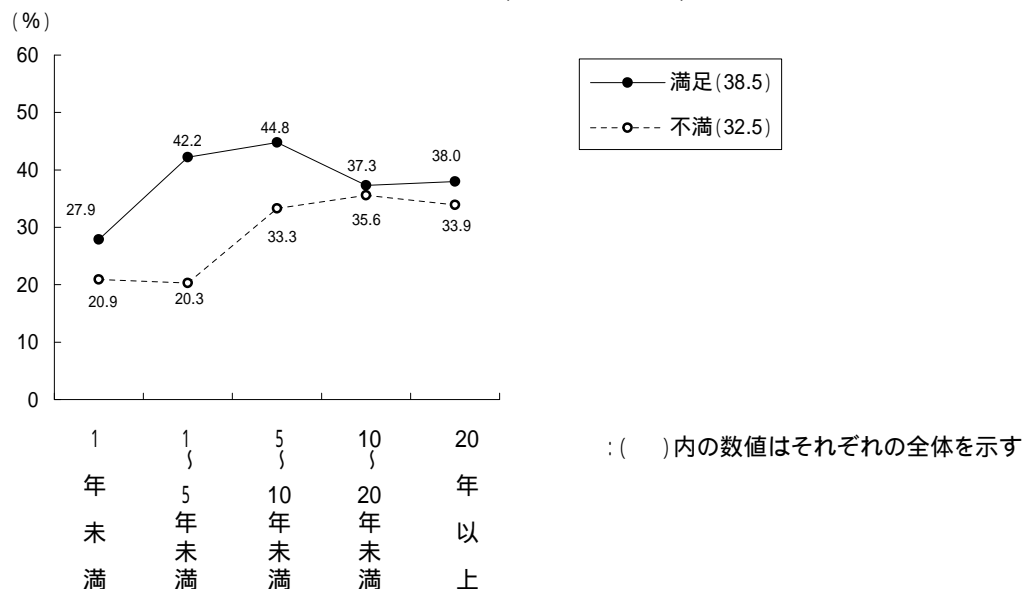
図 5 - 3 - 3 区政に対する満足度 (職業別)



居住年数別にみると、図5 - 3 - 4のとおりである。

《満足層》が最も高いのは、「5～10年未満」で44.8%である。また、《満足層》と《不満層》の差が最も大きいのは「1～5年未満」である。しかし「5～10年未満」にかけて《不満層》は10ポイント以上上昇し、「10～20年未満」、「20年以上」では《満足層》との差が1.7%～4.1%まで小さくなっている。

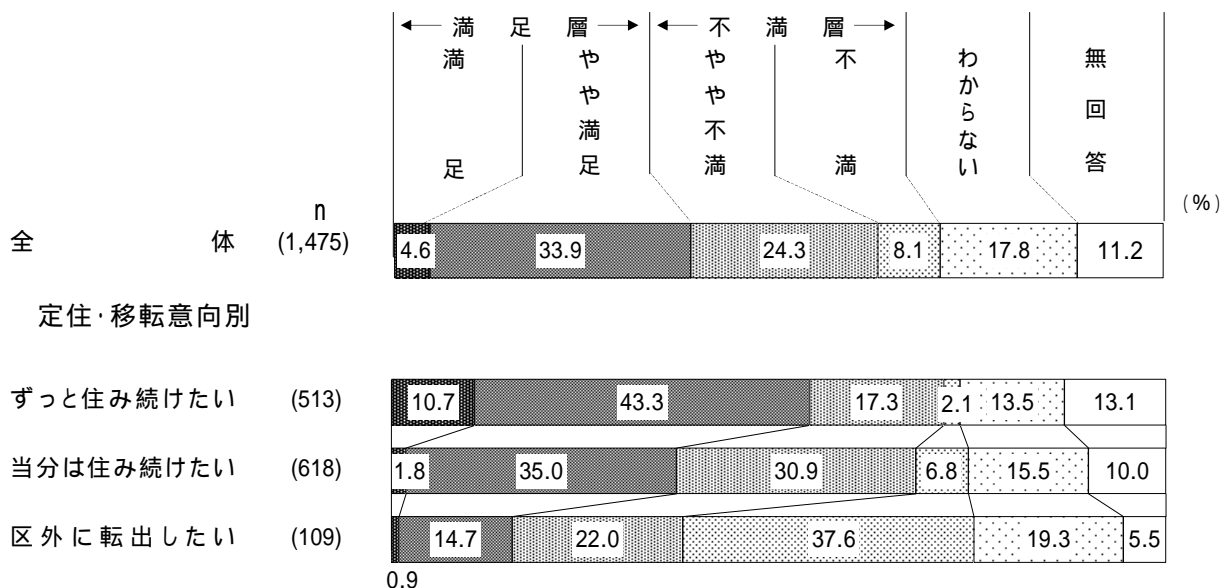
図 5 - 3 - 4 区政に対する満足度（居住年数別）



定住・移転意向別にみると、図5 - 3 - 5のとおりである。

《満足層》は「ずっと住みたい」人では54.0%となっている。定住意向が強いほど、区政に対する《満足層》の割合が高くなっている。

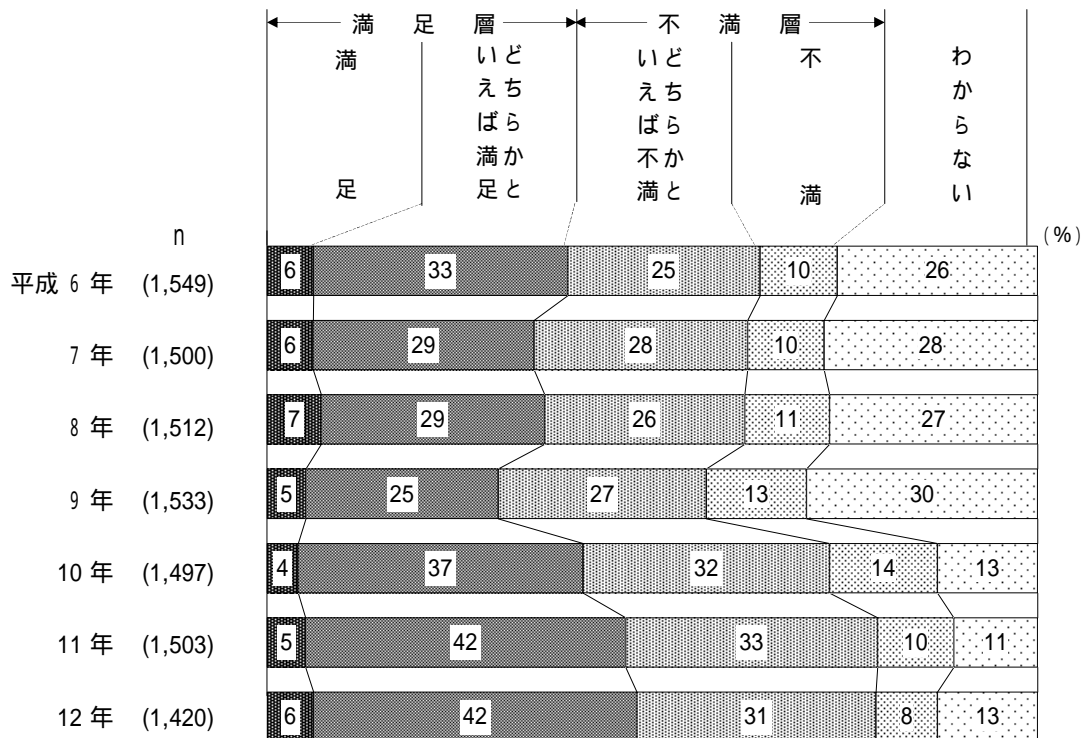
図 5 - 3 - 5 区政に対する満足度（定住・移転意向別）



### 参考 区政に対する満足度の推移

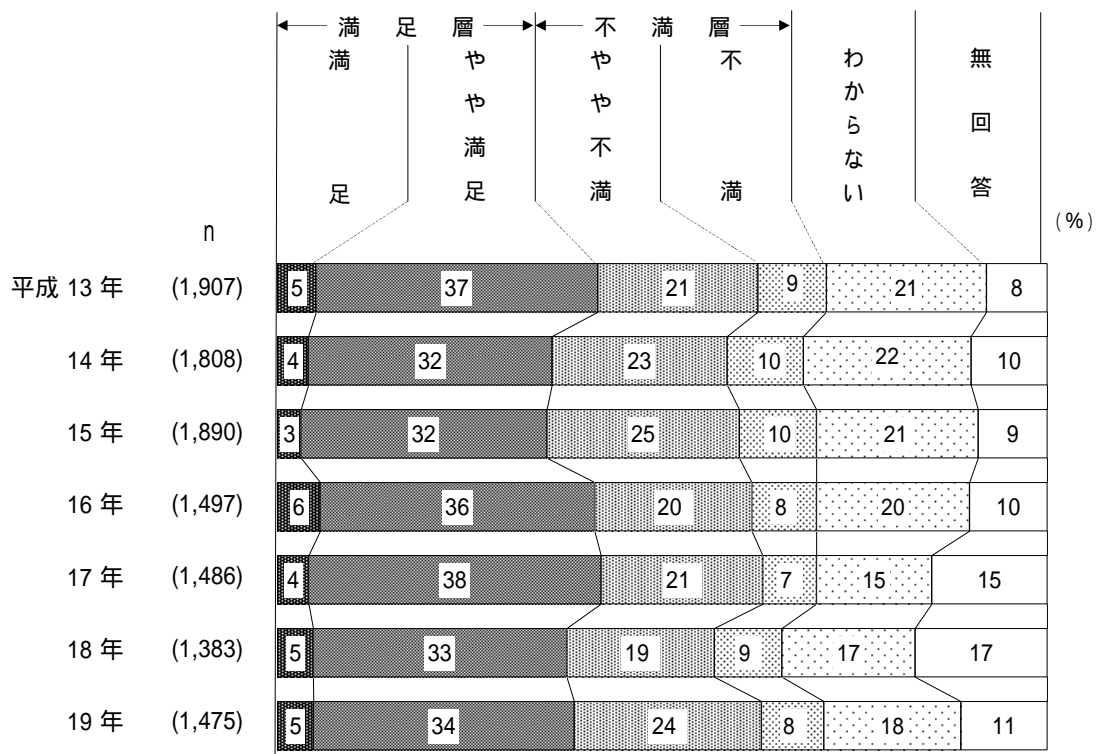
(平成12年まで 訪問面接法)

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。この中から1つお答えください。  
( は1つ)



(平成13年以降 郵送配布郵送回収法)

問 あなたは、現在の足立区政に満足していますか。( は1つ)



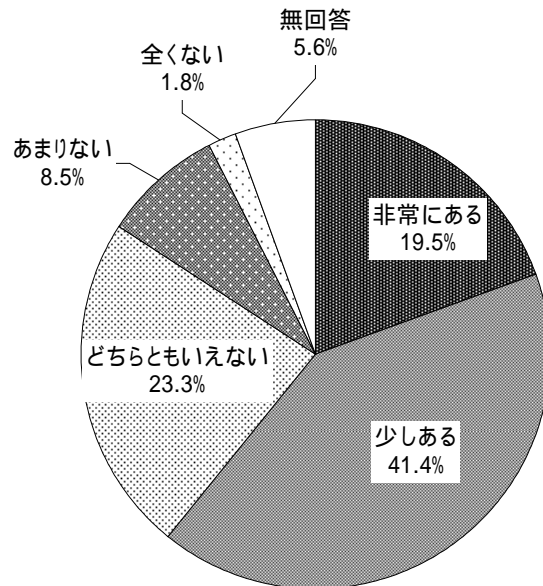
(注) 平成12年までと平成13年以降では、調査方法(平成12年までは訪問面接法、13年以降は郵送配布郵送回収法)、質問文、選択肢が異なるため、結果を単純に比較することはできない。



#### (4) 人権についての関心

「人権への関心がある」は6割

問30 あなたは、人権について関心がありますか。( は1つ)



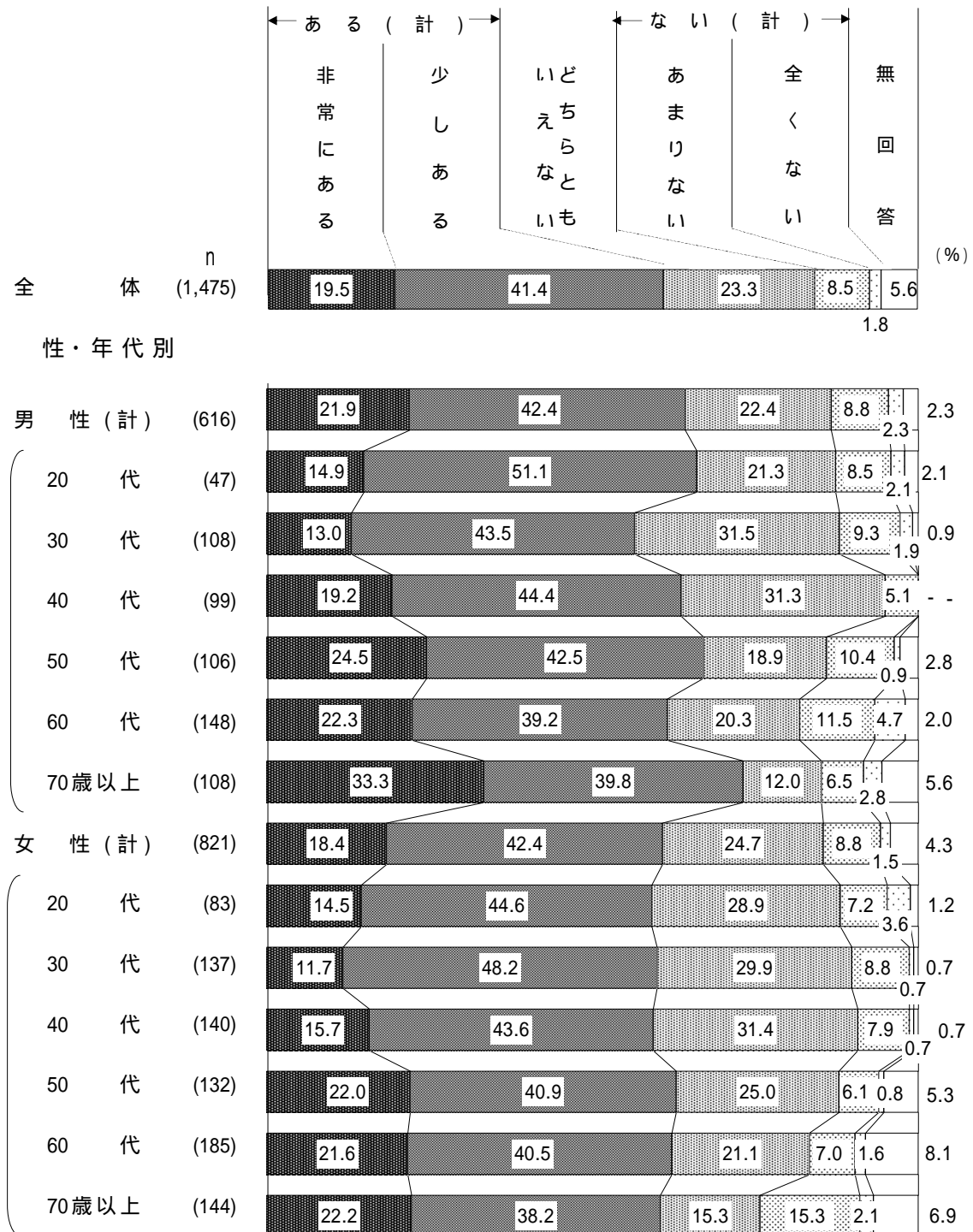
(n=1,475)

人権について「非常に関心がある」と答えた人は19.5%であり、「少しある」の41.4%を合わせた〈関心がある〉は全体の60.9%を占めている。一方、「全くない」(1.8%)と「あまりない」の8.5%を合わせた〈関心がない〉は10.3%である。

性・年代別にみると、図5 - 4 - 1のとおりである。

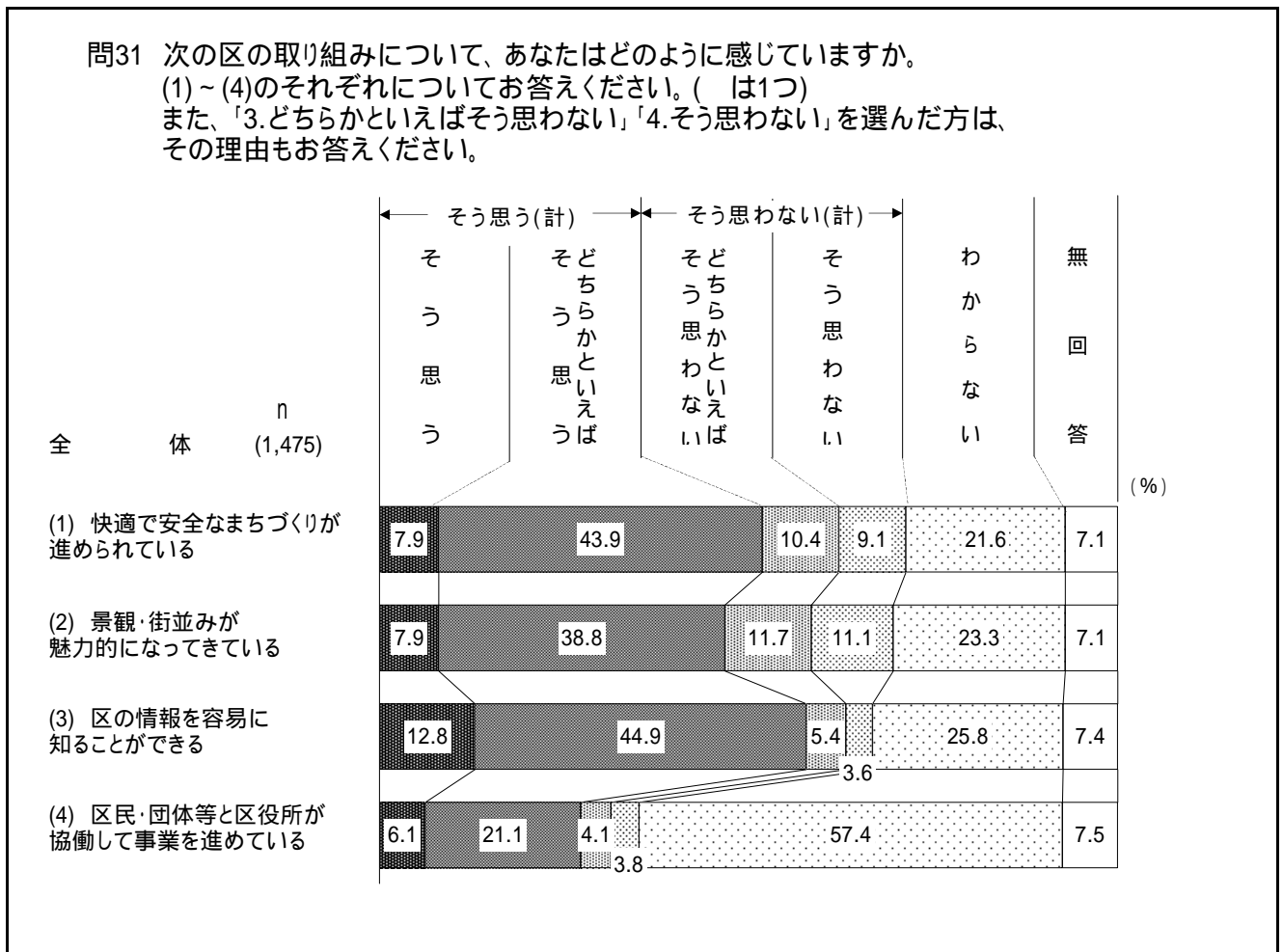
《関心がある》は男性70歳以上で73.1%と最も高く、次いで男性50代(67.0%)、20代(66.0%)が比較的高い。

図 5 - 4 - 1 人権についての関心 (性・年代別)



## (5) 区の取り組みについての評価・印象

「(3) 区の情報を容易に知ることができる」が57.8%で最も高い



区の取り組みについての評価・印象は、「(3) 区の情報を容易に知ることができる」で「**そう思う**」が57.8%を示し、最も高い。また、「(4) 区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている」では「**わからない**」と答えた人が50%以上を示している。

性・年代別でみると図5 - 5 - 1のとおりである。

「(3) 区の情報を容易に知ることができる」では、男性、女性ともに30代において「**そう思う**」が最も高く、それぞれ60.2%、66.4%を示している。「(4) 区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている」では、男性、女性ともに20代で「**わからない**」と答えた人が7割を超えている。

図 5 - 5 - 1 (1) 快適で安全なまちづくりが進められている (性・年代別)

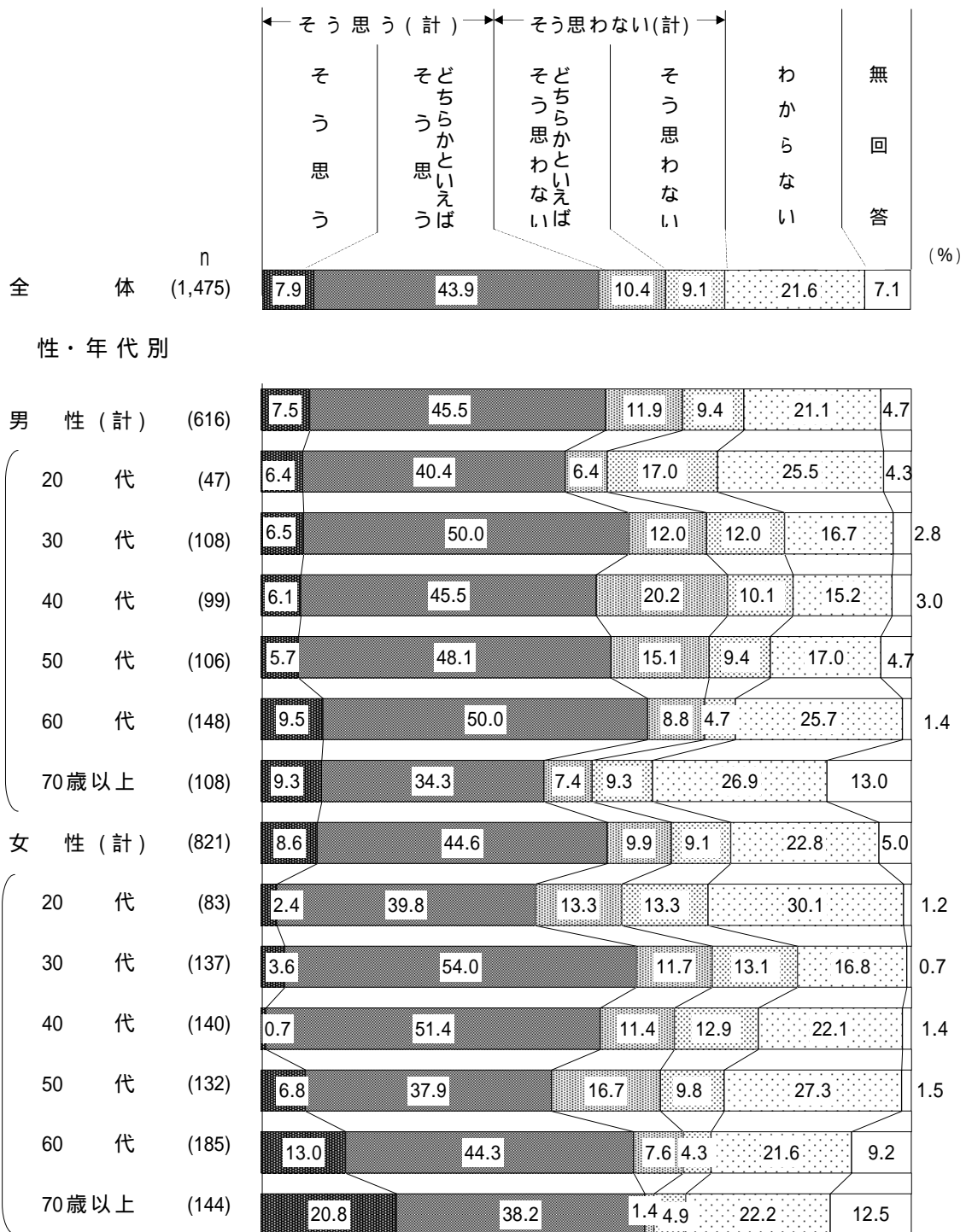


図 5 - 5 - 1 (2) 景観・街並みが魅力的になってきている (性・年代別)

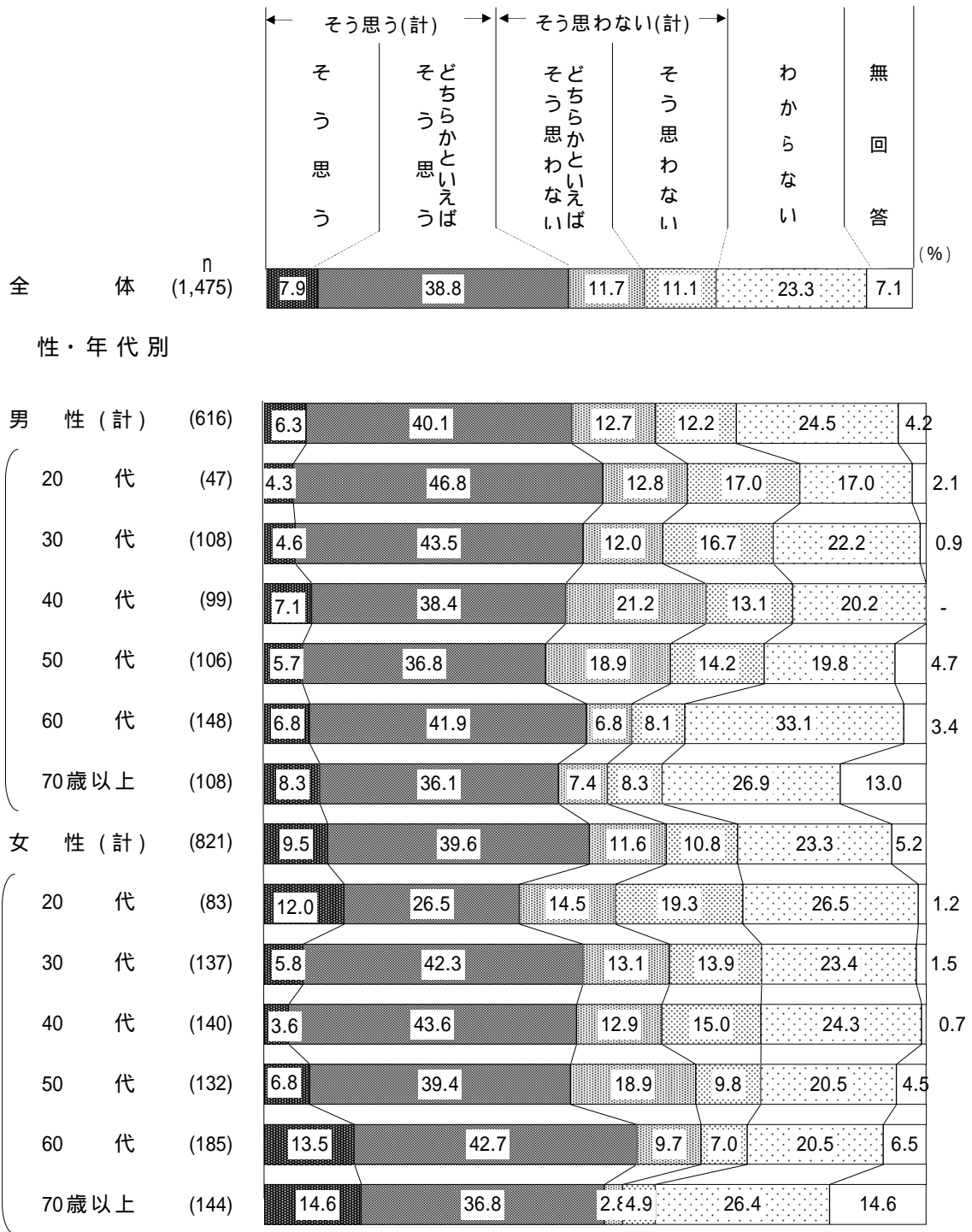


図 5 - 5 - 1 (3) 区の情報を容易に知ることができる (性・年代別)

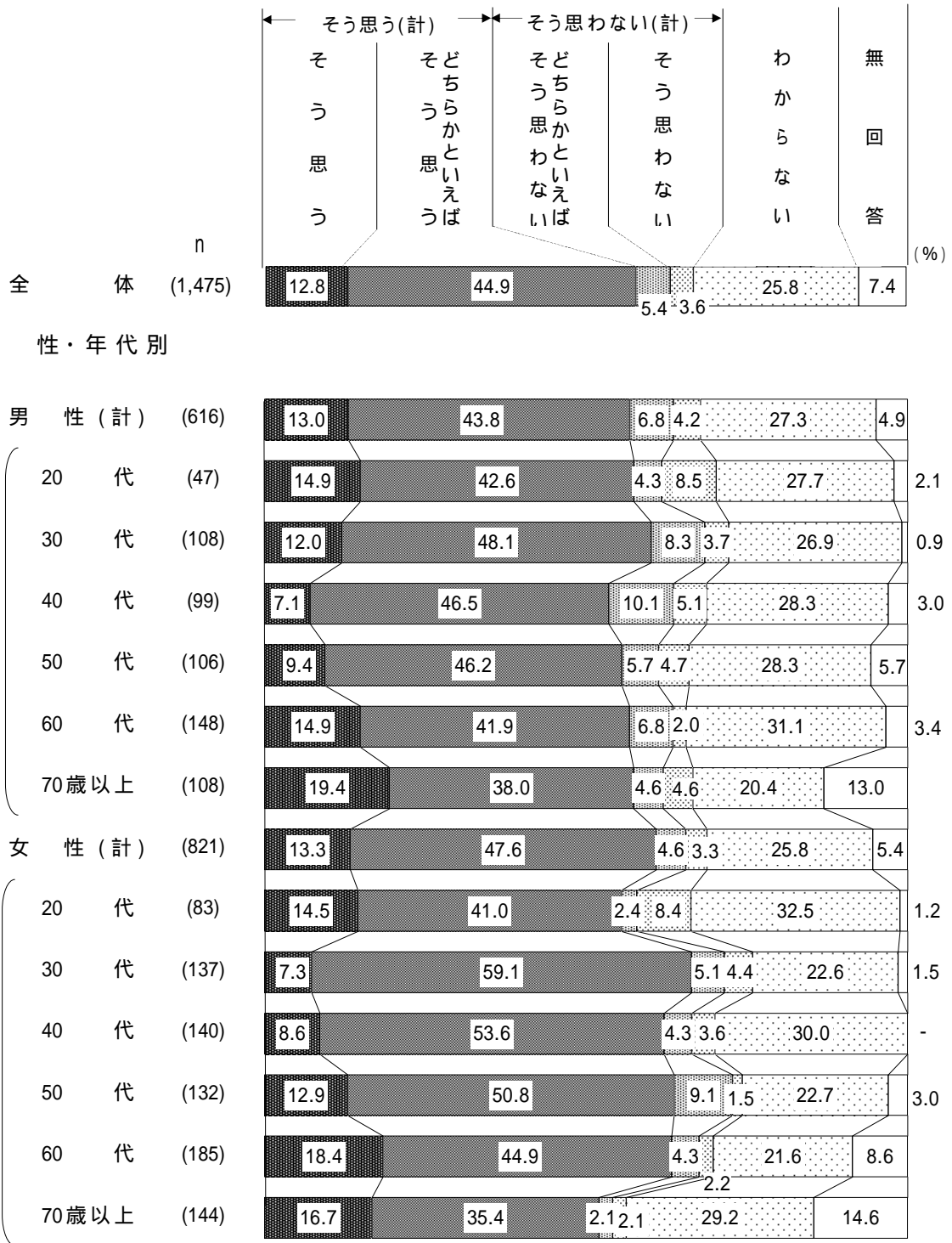
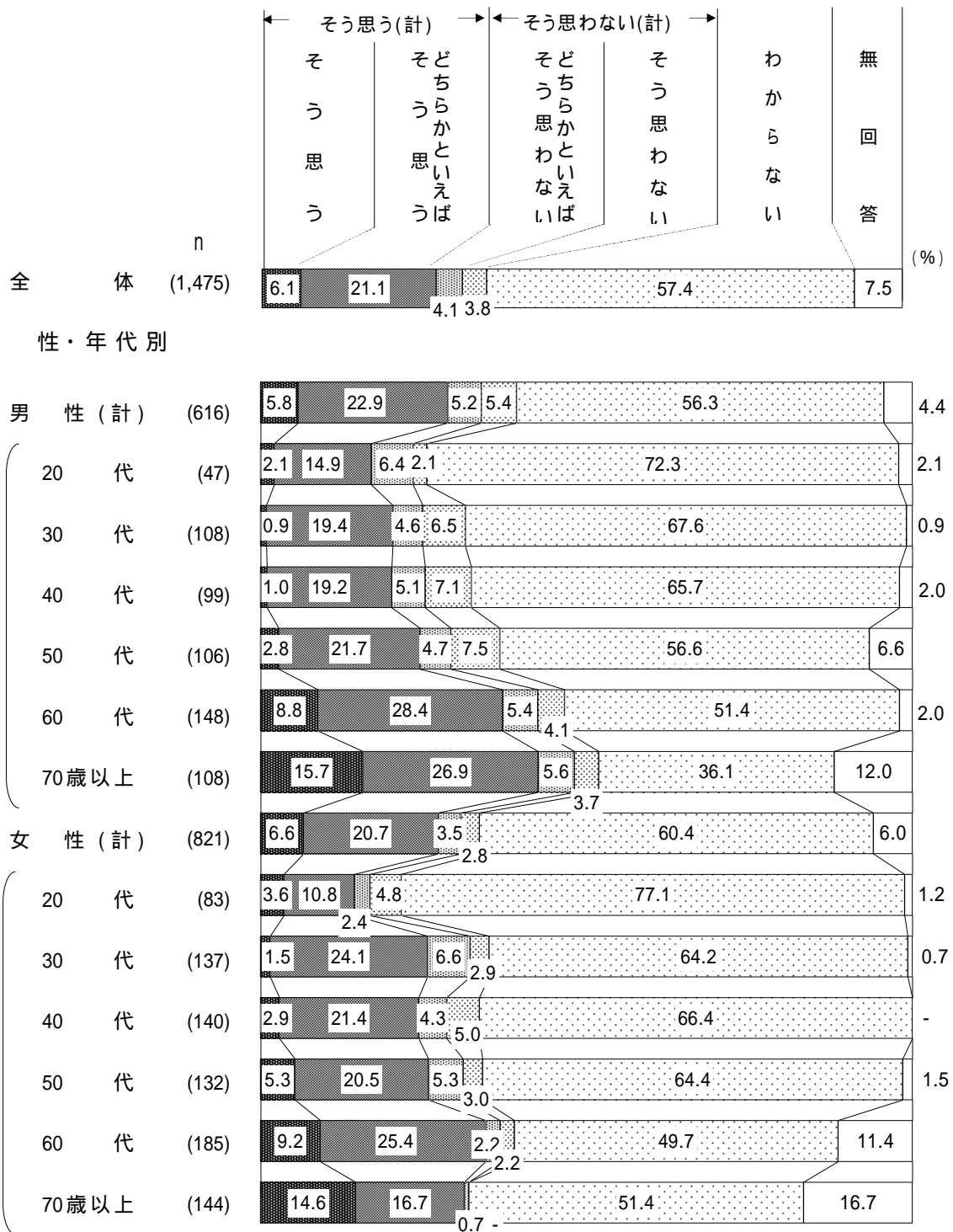
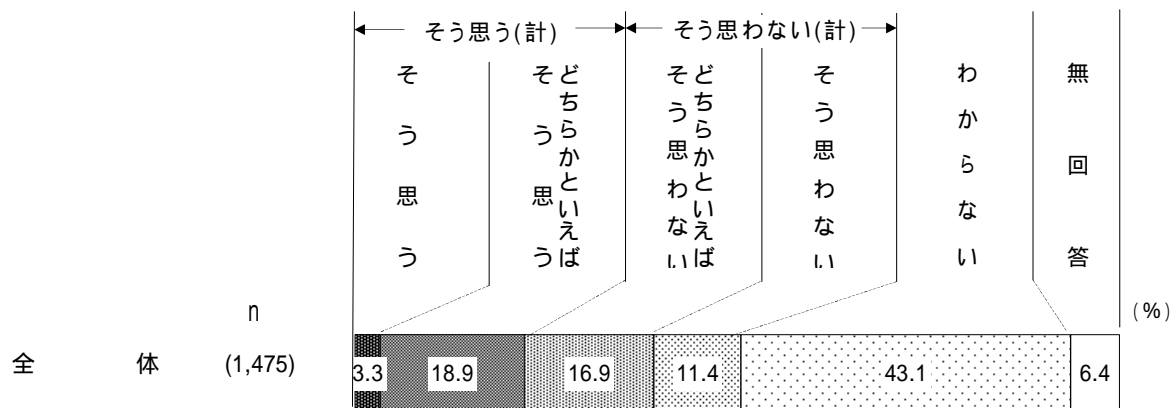


図 5 - 5 - 1 (4)区民・団体等と区役所が協働して事業を進めている(性・年代別)

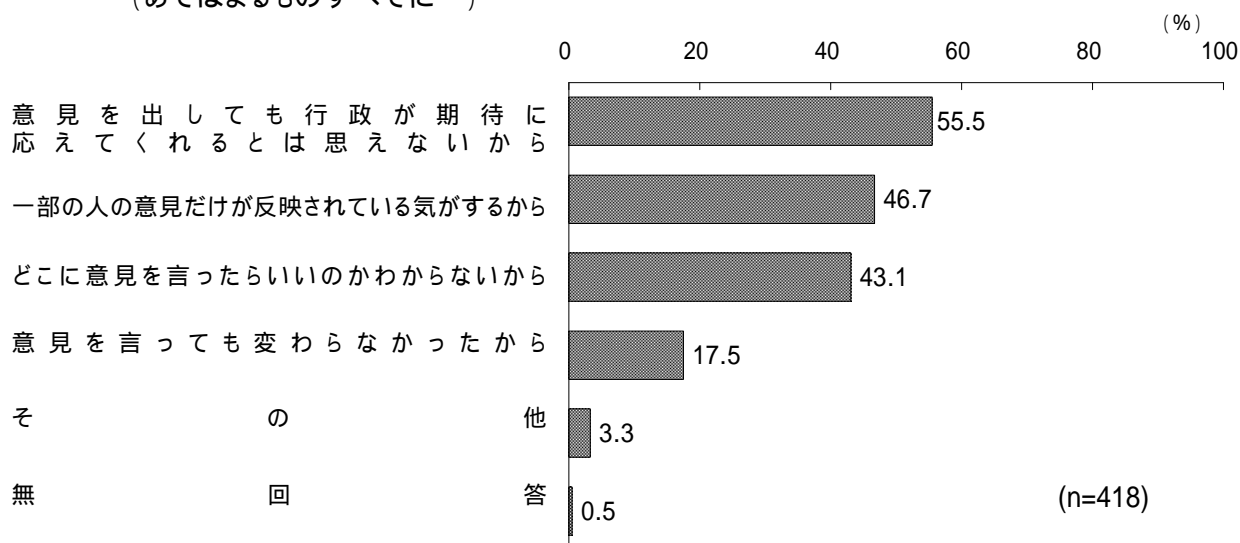


(6) 区政への区民の意見の反映についての評価・印象  
 区政への区民の意見の反映は「そう思わない」が3割弱  
 理由は「行政が応えてくれるとは思えない」が半数以上

問32 あなたは、区政に区民の意見が反映されていると思いますか。( は1つ)



また、「3.どちらかといえばそう思わない」「4.そう思わない」を選んだ方は、その理由もお答えください。(あてはまるものすべてに)



区政への区民の意見の反映については、「そう思わない」が28.3%で「思う」(22.2%)をやや上回っている。一方で「わからない」も43.1%にのぼっている。

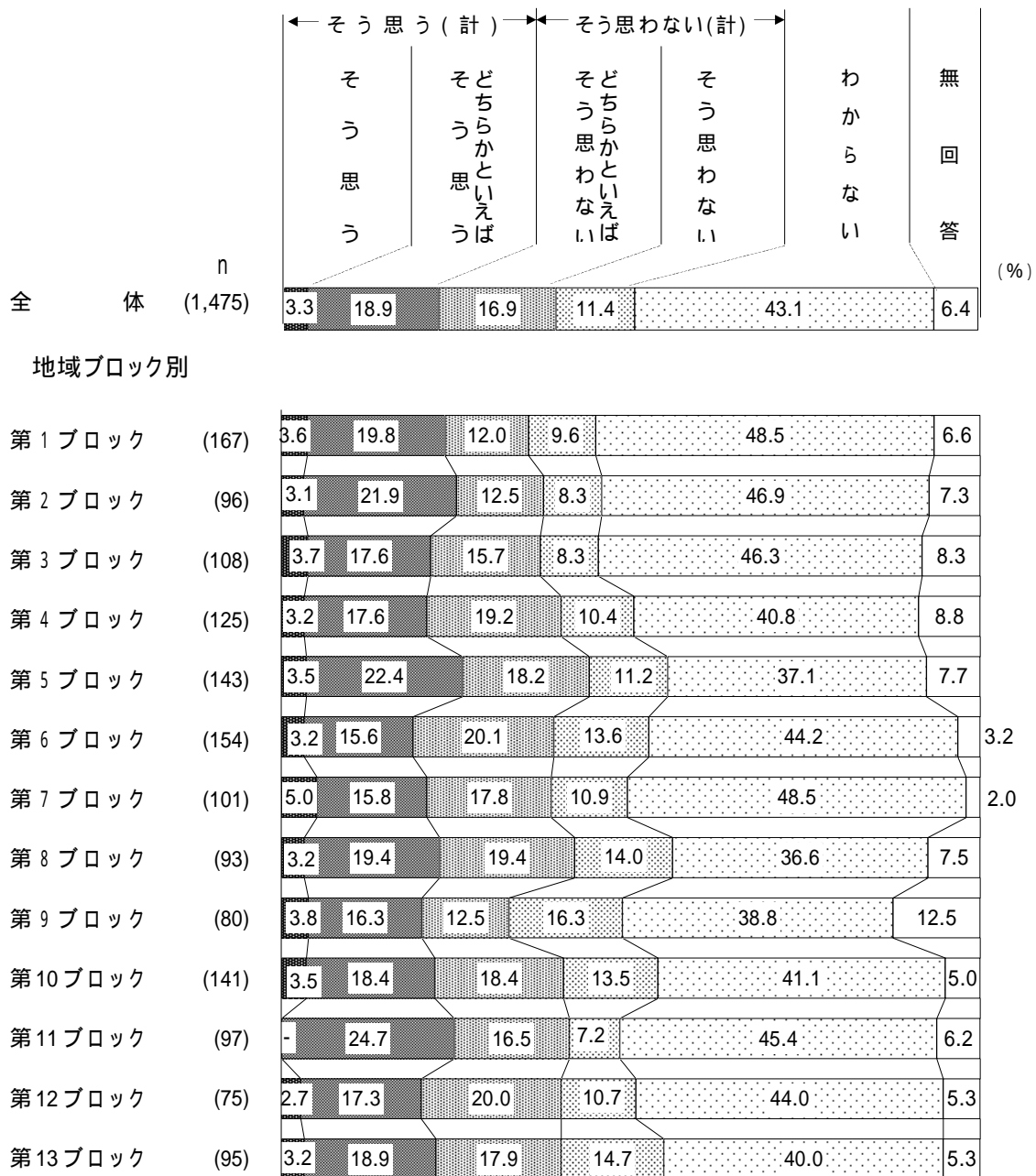
「そう思わない」と答えた人の理由については、「意見を出しても行政が期待に応えてくれるとは思えないから」が55.5%で最も多く、次いで「一部の人の意見だけが反映されている気がするから」(46.7%)となっている。



地域ブロック別にみると、図5 - 6 - 1のとおりである。

《そう思う》は第2、第5ブロックで25%前後と比較的高く、《そう思わない》は第6、第8ブロックで33%強となっている。

図 5 - 6 - 1 区政への区民の意見の反映（地域ブロック別）



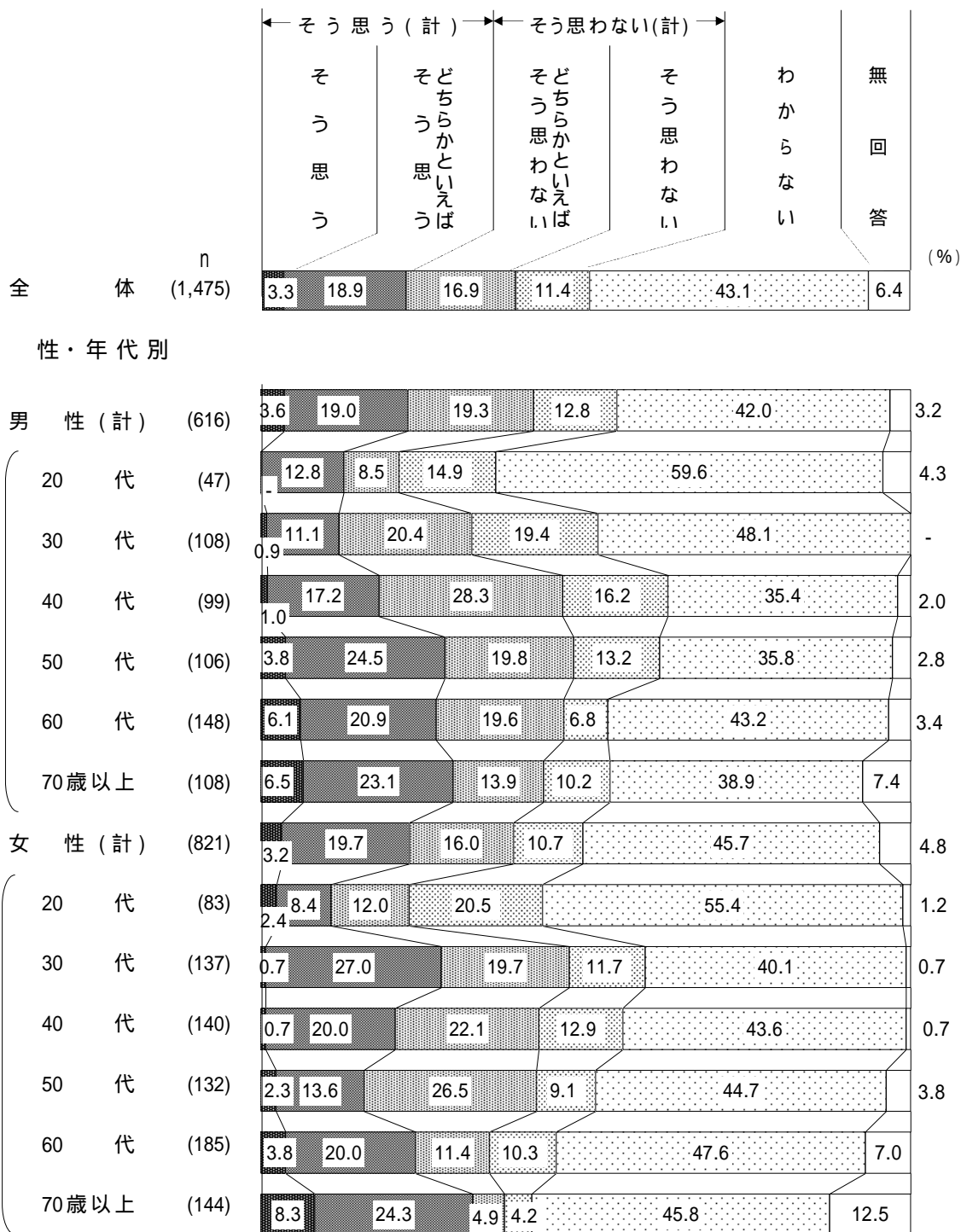
ブロック区分



性年代別にみると、図5 - 6 - 2のとおりである。

〈そう思う〉は女性70歳以上で32.6%と最も高く、次いで男性70歳以上の29.6%が続いている。一方、〈そう思わない〉は男性40代で44.4%、男性30代で39.8%と4割前後を示している。

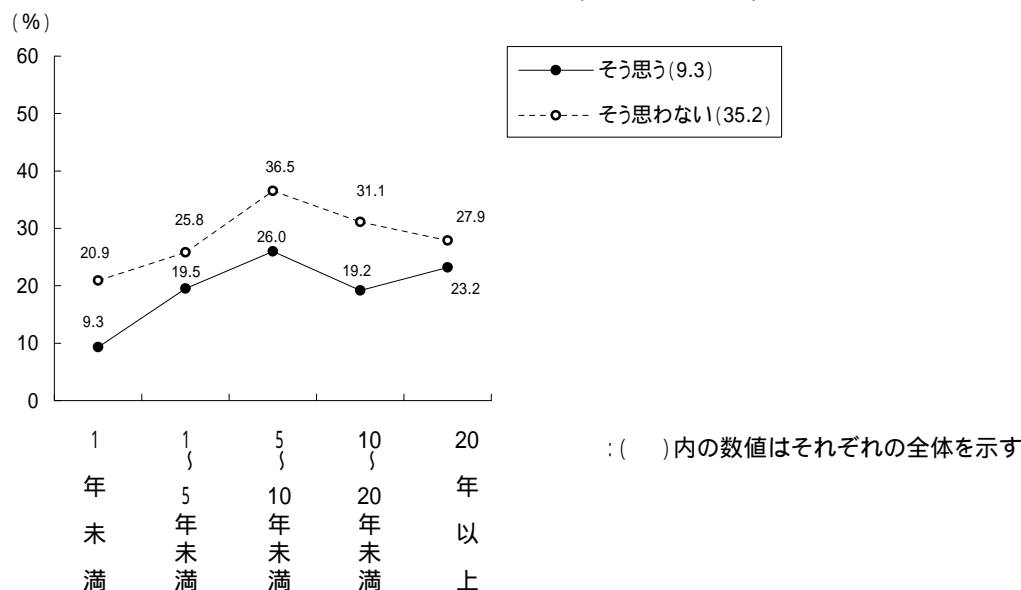
図 5 - 6 - 2 区政への区民の意見の反映 (性・年代別)



居住年数別にみると、図5 - 6 - 3のとおりである。

《そう思わない》がすべての居住年数で《そう思う》を上回っており、《そう思わない》《そう思う》双方において、「5～10年未満」で最も高くなっている。

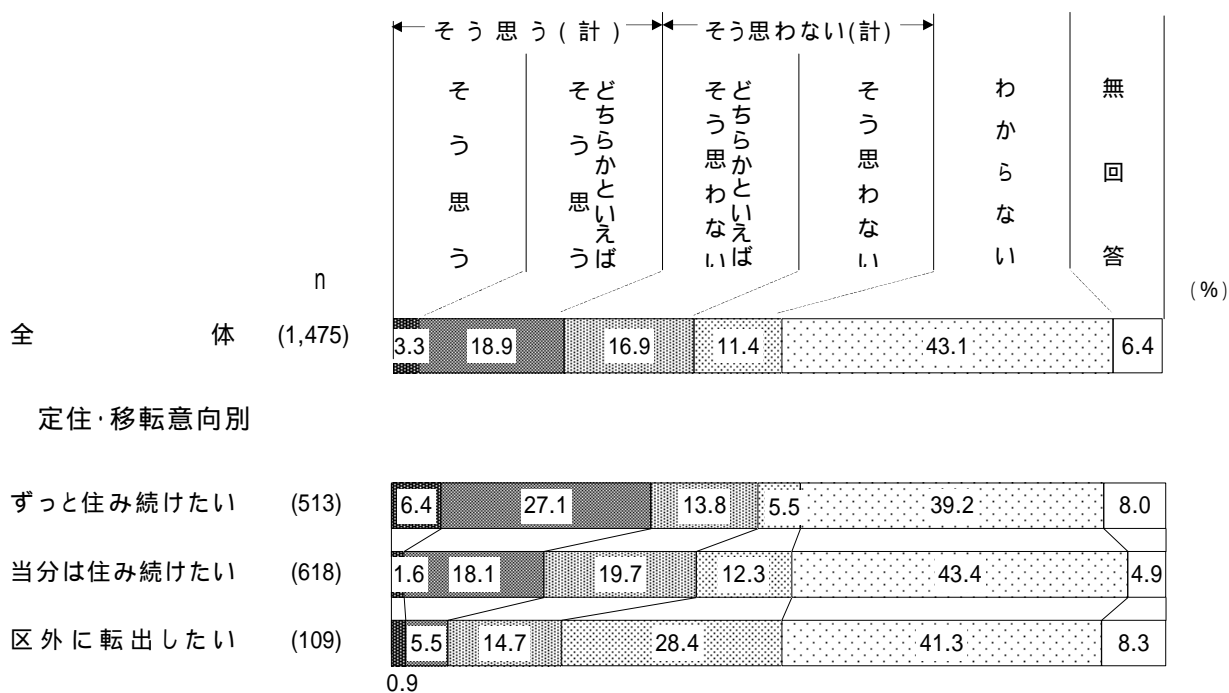
図 5 - 6 - 3 区政への区民の意見の反映（居住年数別）



定住・移転意向別にみると、図5 - 6 - 4のとおりである。

《そう思う》は「ずっと住み続けたい」人では33.5%となっている。定住意向が強いほど《そう思う》の割合が高くなっている。

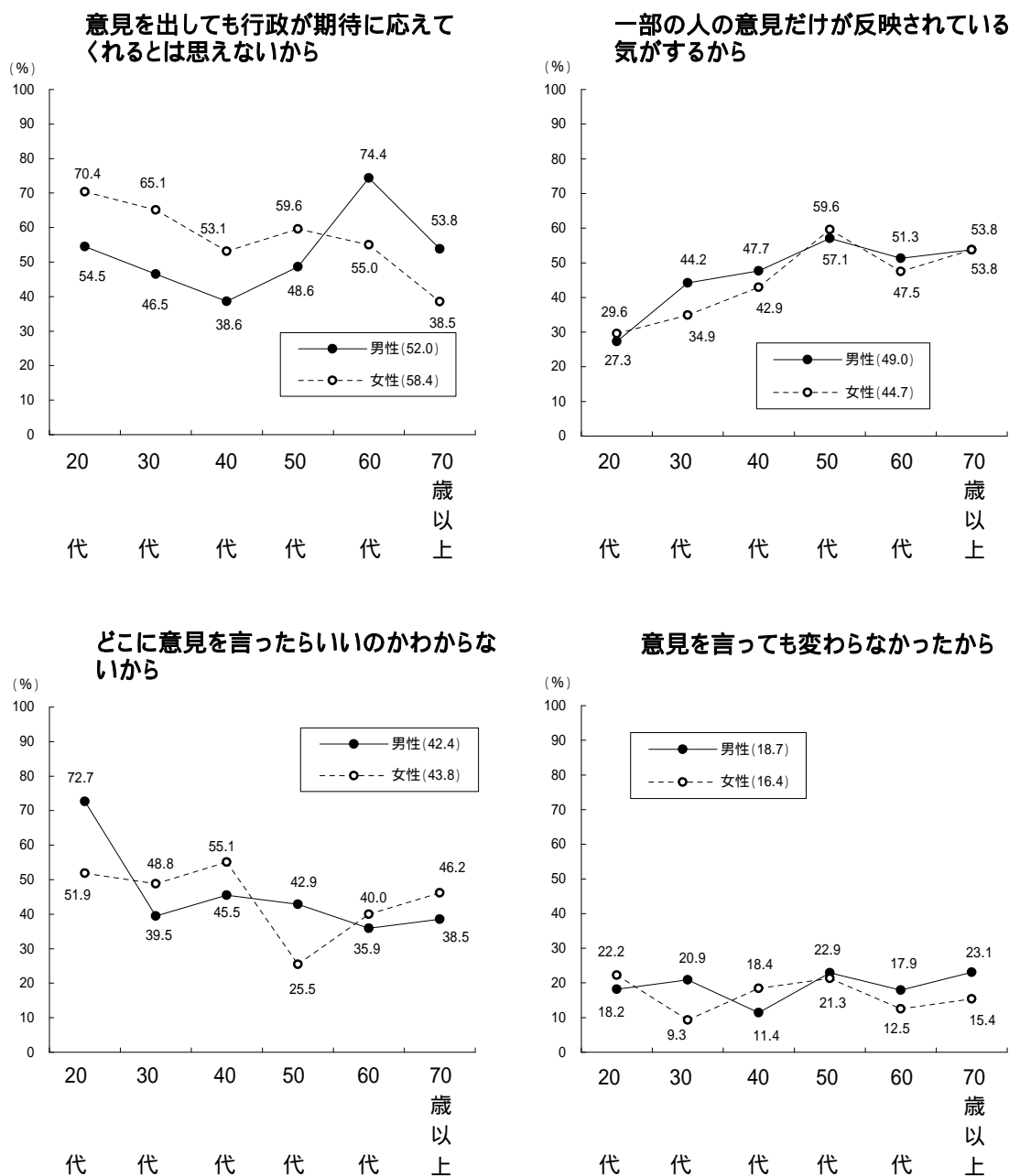
図 5 - 6 - 4 区政への区民の意見の反映（定住・移転意向別）



「そう思わない」人の理由を性・年代別にみると、図5 - 6 - 5のとおりである。

「意見を出しても行政が期待に応えてくれるとは思えないから」では、全体的に女性が男性よりも高い傾向にあるが、最も高いのは男性60代で74.4%である。「一部の人の意見だけが反映されている気がするから」では、男女ともに年代が上がるにつれ上昇する傾向にあり、50代が最も高くなっている。

図 5 - 6 - 5 区民の意見が反映されていないと思う理由（性・年代別）

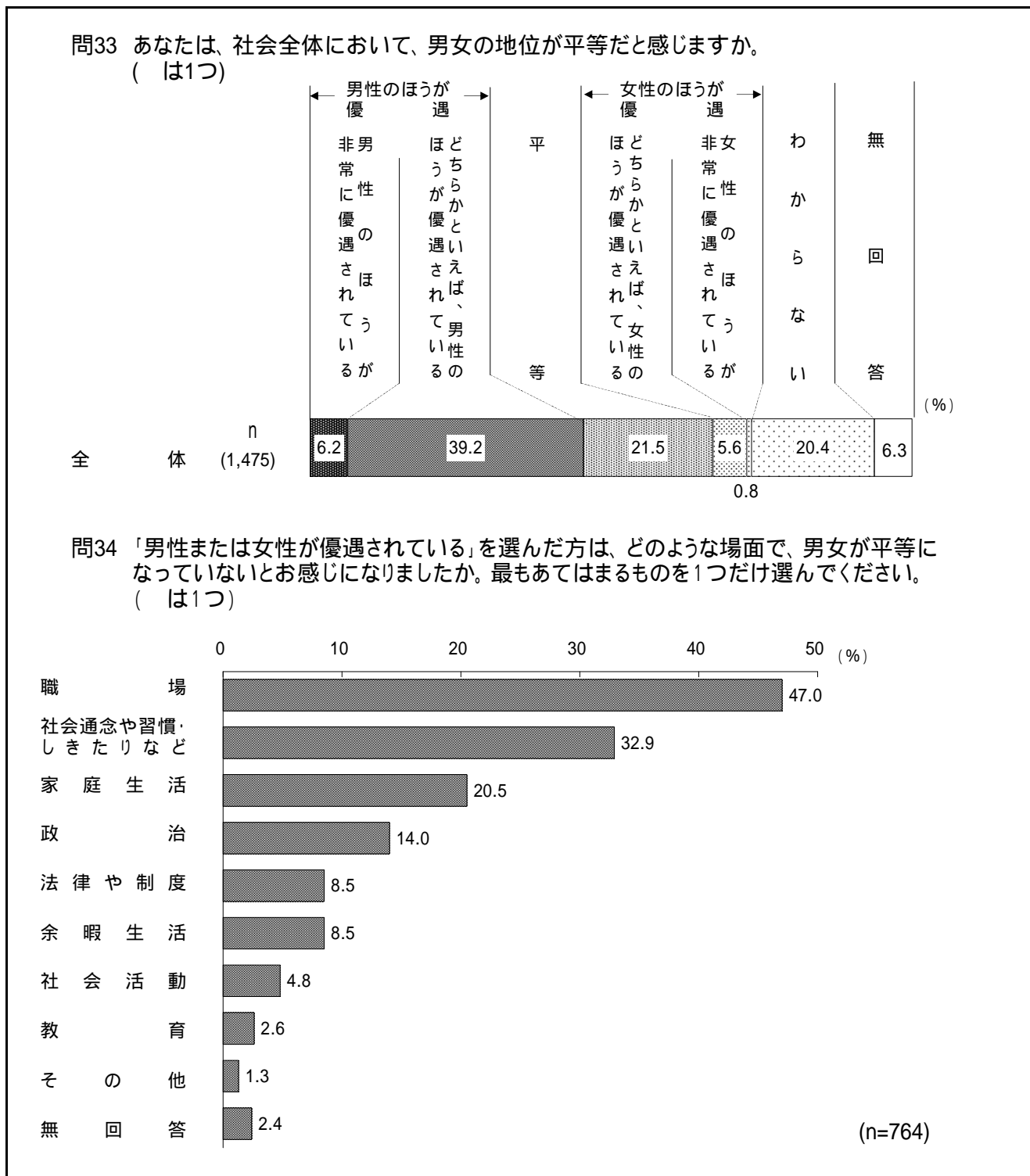


：( )内の数値は男女それぞれの全体を示す

## (7) 男女の地位の平等観

「男性のほうが優遇」が45%強を占める

優遇されていると感じる場面は半数近くが「職場」

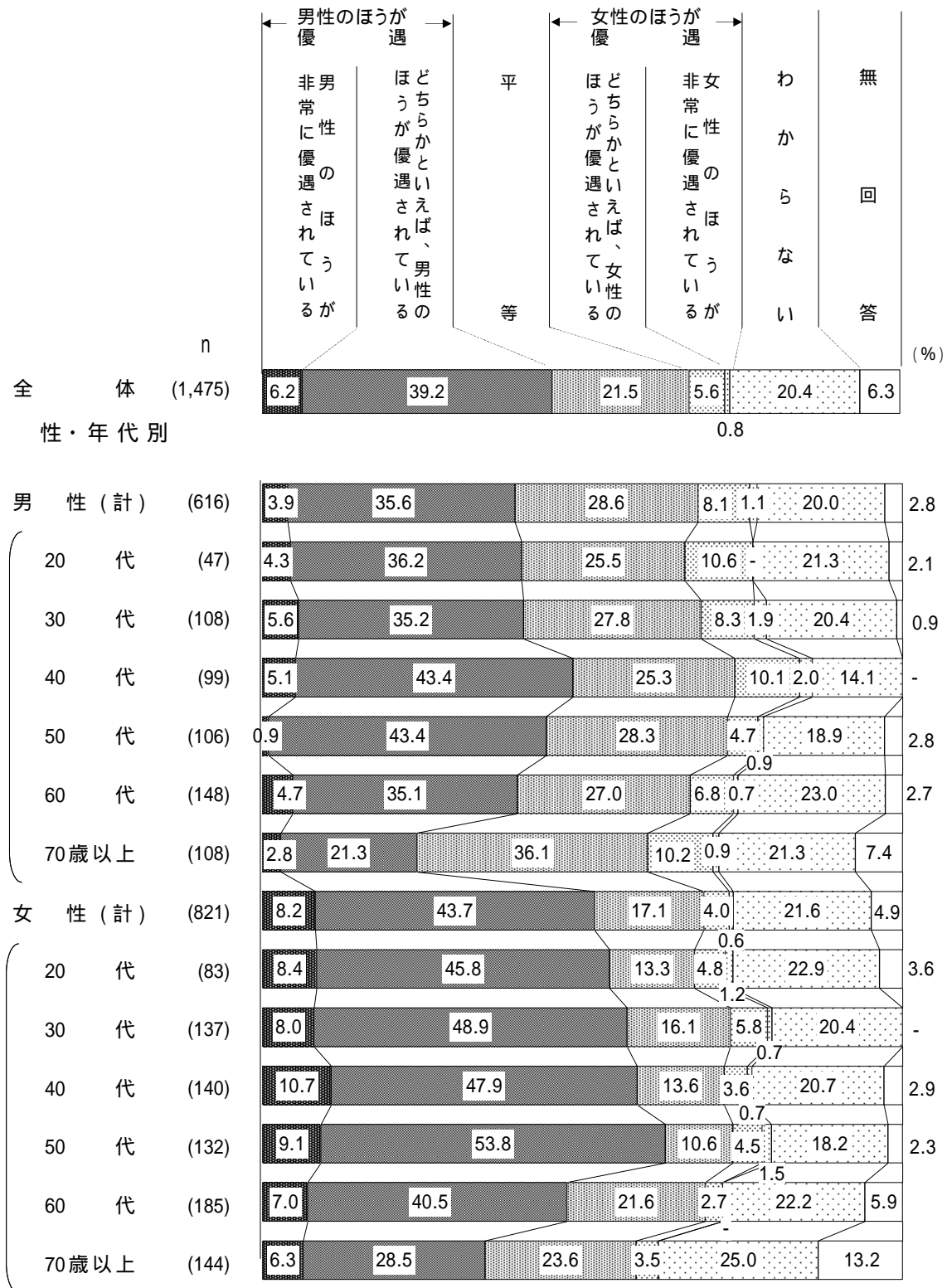


《男性のほうが優遇》が45.4%を占める一方で、《女性のほうが優遇》は6.4%にすぎない。他方、「平等」も21.5%にとどまっている。また、どちらかが優遇されていると答えた人の優遇されている場面については、「職場」が47.0%を占め、次いで「社会通念や習慣・しきたり」が32.9%となっている。

性・年代別にみると、図5 - 7 - 1のとおりである。

《男性の方が優遇》は全体的に女性の方が男性よりも高く、女性20代、30代、40代、50代が50%を超えて比較的高い。また《女性の方が優遇》は男性40代の12.1%が最も高く、女性はすべての年代で10%以下である。

図 5 - 7 - 1 男女の地位の平等観 (性・年代別)

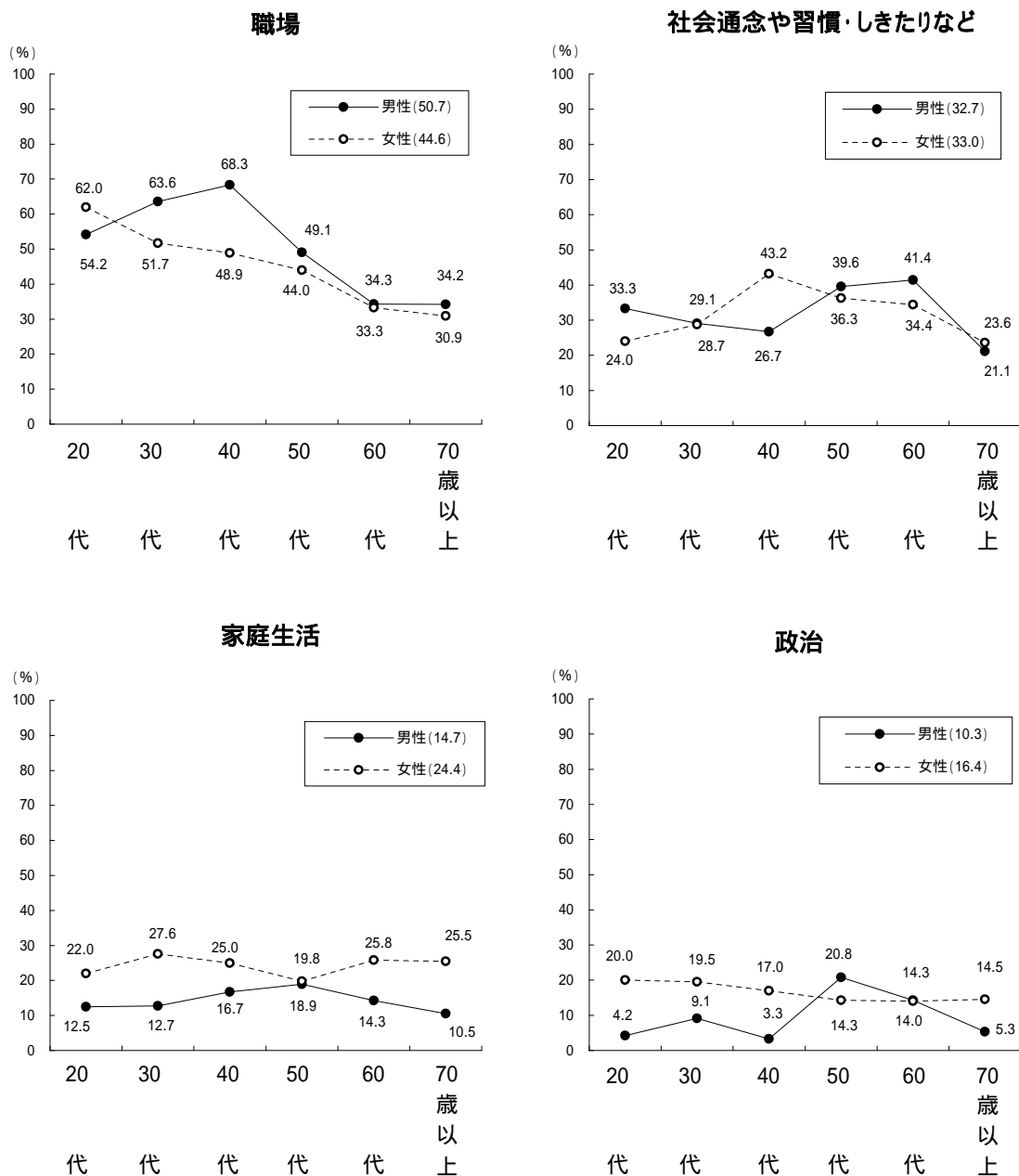


優遇されていると答えた人の優遇されている場面について、性・年代別にみると、図5 - 7 - 2のとおりである。

「職場」では男性40代の68.3%が最も高く、30代～50代においては男性の方が女性より高い傾向にある。

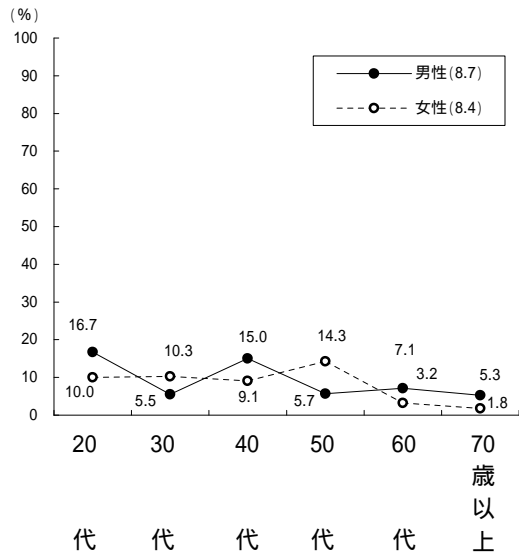
「社会通念や習慣・しきたり」では女性40代の43.2%が最も高い。また「家庭生活」では、どの年代でも女性の方が男性よりも高い傾向にあり、30代、70歳以上で顕著である。

図 5 - 7 - 2 男女の地位の不平等を感じる場面（性・年代別）

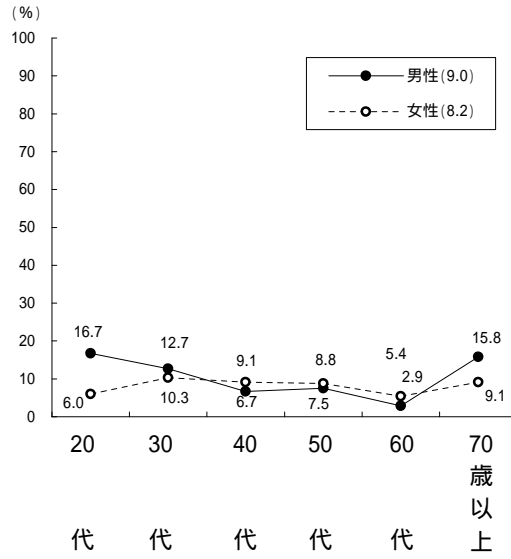


:( )内の数値は男女それぞれの全体を示す

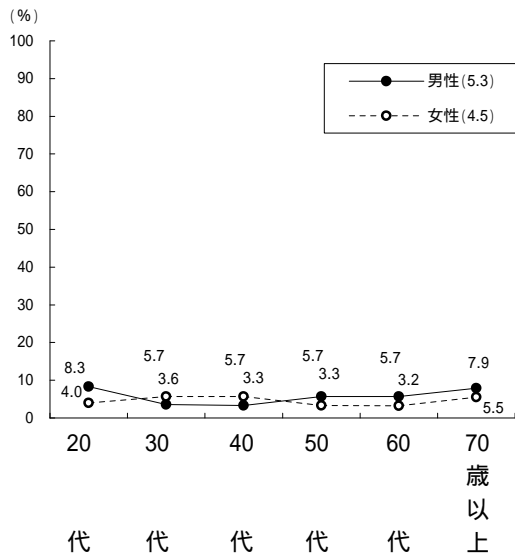
### 法律や制度



### 余暇生活



### 社会活動



: ( )内の数値は男女それぞれの全体を示す